RS232C ワイヤレスコンバーター

取扱説明書

CO12051BP

CO12051BU

安全上の注意事項

RS232Cワイヤレスコンバーターをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用になる人やその他の人への危害や財産への損害をあらかじめ防止するため、本製品のご使用の前に必ずこの操作説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。また、お読みになられた後は、大切に保管願います。

■ 本書の記載内容を守らない使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で説明しています。

危険	この表示は「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は「損害を負う可能性または、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵区分で説明しています。

表示	内容
	この記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	この記号は、「分解」を禁じる内容です。
	一般的な機器の取扱上で何らかの注意が必要で、人に何らかの危害または、機器に何らかの障害が起こる可能性があることを促す警告表示です。
	故障により、人に何等かの危害または、機器に何等かの障害が起こる可能性がある場合、コンセントから電源ケーブルを抜くことを促すための警告表示です。

危険

	分解したり改造したりしないでください。ショートや発熱より、感電ややけど・火災の原因となります。

警告

	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。接続ケーブル及び電源ケーブルを本製品から抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
	万一、本製品の内部に水などが入った場合は、まず本機接続ケーブルを全て抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、本製品の内部に異物が入った場合は、まず本製品に接続しているケーブルを全て抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、この製品を落したり、製品のケースを破損したりした場合は、本製品の接続ケーブルを全て抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	接続ケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	接続ケーブルの上に重い物を載せたり、コードが機器の下敷きにならないようにしてください。接続ケーブルが傷ついて、火災・感電の原因となります。

安全上の注意事項

警告

	接続ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。接続ケーブルが破損して、火災・感電の原因となります。

注意

	油煙や湯気があたるような場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	濡れた手で接続ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	接続ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。
	本製品のお手入れの際には、安全のためまず本機接続ケーブルを全て抜いて行ってください。火災・周囲を汚損する原因となることがあります。
	落下させたり、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	小児には使用させないでください。
	直接日光のあたるところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面など高温の場所に放置しないでください。

● 次のような場所には設置しないでください誤動作や故障の原因になります。

・直接日光の当たる場所　　・磁界や誘導ノイズが発生する場所
・ほこりの多い場所　　・湿度の高い場所
・水の近くや水のかかる場所　　・振動や衝撃がかかる場所
・温度が極端に高い場所　　・温度が極端に低い場所
・不安定な場所　　・海岸近くや海岸からの潮風があたる場所
また、保管の際も上記の環境にご留意ください。

● お手入れについて

汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めて使用し、濡らした布を固く絞ってから拭いてください。
本製品を移動する際は電源コンセントを貫いて、衝撃や振動を与えないようにしてください。

注意：
1、ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ユーザーにライセンスしています。
2、全てのソフトウェアや製品の信頼性を向上する為に機能またはデザインを変更する権利を受ける事ができます。
3、このマニュアルの内容は、予告なしに変更します。
4、本製品に同梱される付属品は電源アダプター（オプション）・RS232C 接続ケーブル・ユーザーマニュアルです。

目　　次

1、概要 ・・・

レートの切り替え、PIN コードの設定、本製品の名称の変更等が簡単に出来ます。

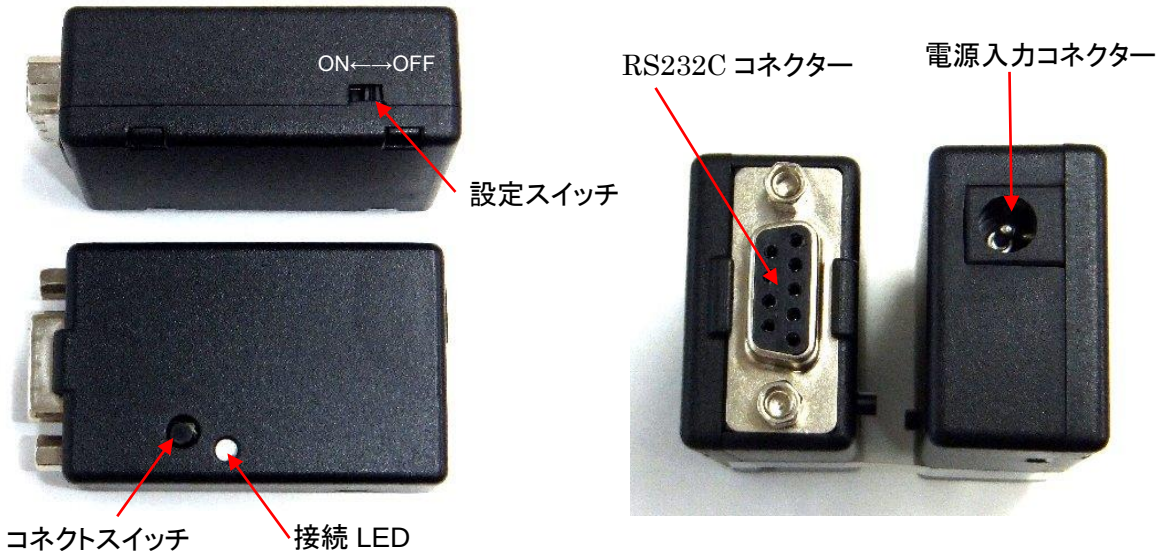
※ 無線部分は、Bluetooth Ver2.1+EDR の採用で Bluetooth Ver2.1 同士の接続や Bluetooth Ver2.1 上位機種との接続はパスキーの入力が不要で、簡単にペアリングが完了します。

※ 小型で場所を選びません。

3、 製品仕様

1、型番	:CO12051BP（電源アダプター）
	:CO12051BU（USB 供給電源）
2、インターフェイス	:RS232C（通信速度：9.6K～3686.4Kbps）
3、ワイヤレス	:2.4GHz（Bluetooth Ver.2.1+EDR）SPP 準拠
4、最大通信速度	:3.0Mbps
5、出力クラス	:クラス 2 （最大：0.3mW）
6、周波数帯域	:2.4GHz （2402～2480MHz）
7、通信距離	:最大 10m （屋内の見通し距離）
8、電源／消費電力	:DC5V（電源アダプター）／20mA（動作時）
9、外形寸法	:35(W)×20(H)×60(D)mm（突起部除く）
10、重量	:28g
11、動作環境	:温度-10℃～40℃／湿度 10～80%
12、動作 OS	:Windows2000、Windows XP、Windows 7
	Android Ver2.1 以上、Mac OS、Linux、

4、 機能詳細



1、設定スイッチ　　：このスイッチは、設定用専用アプリケーションソフトを使用して、マスター／スレーブの切り替え、通信ボーレートの切り替え、PIN コードの設定、本製品の名称の変更を行うときに使用します。ON で変更可能になります。
スイッチの ON/OFF は電源コネクターを取り外して行ってください。
ターミナルソフトを使用して AT コマンドでの変更も可能です。AT コマンドの使用方法は「AT コマンドを使用しての設定方法」を参照してください。

2、コネクトスイッチ　　：このスイッチは RS232C 搭載機器とパソコンを接続するとき、パソコンに搭載の Bluetooth モジュールが Bluetooth Ver2.0 の場合に使用します。接続モジュールが Bluetooth Ver2.1+EDR の場合は必要ありません。

3、接続 LED　　：この LED は本製品とパソコンと接続されたことを確認する LED です。
早い点滅　　：本製品がスレーブの状態で未接続の場合。
遅い点滅　　：本製品がマスターの状態で未接続の場合。
点灯　　：パソコンと接続された場合。

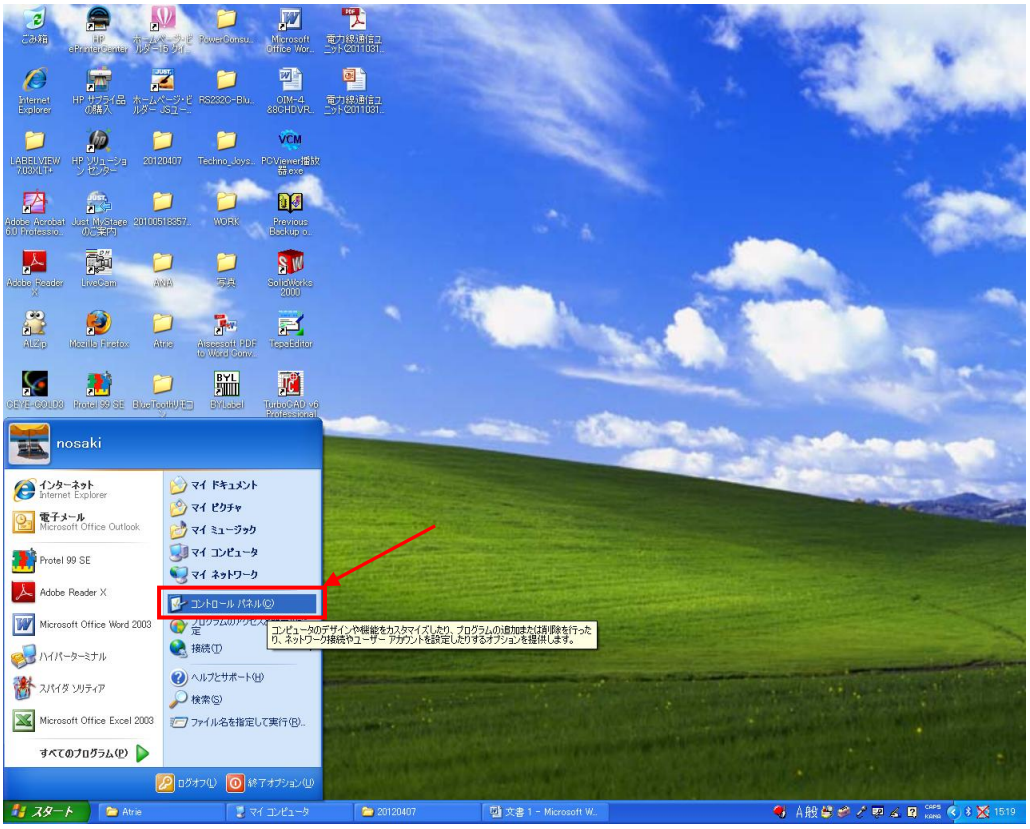
4、RS232C コネクター　　：このコネクターに RS232C 搭載機器を接続します。

5、電源入力コネクター　　：このコネクターに電源アダプターの DC5V を接続します。
注意、接続する電源アダプターは出力が DC5V の物を使用してください、出力が DC5V 以上の電圧を加えると本製品は破損します。

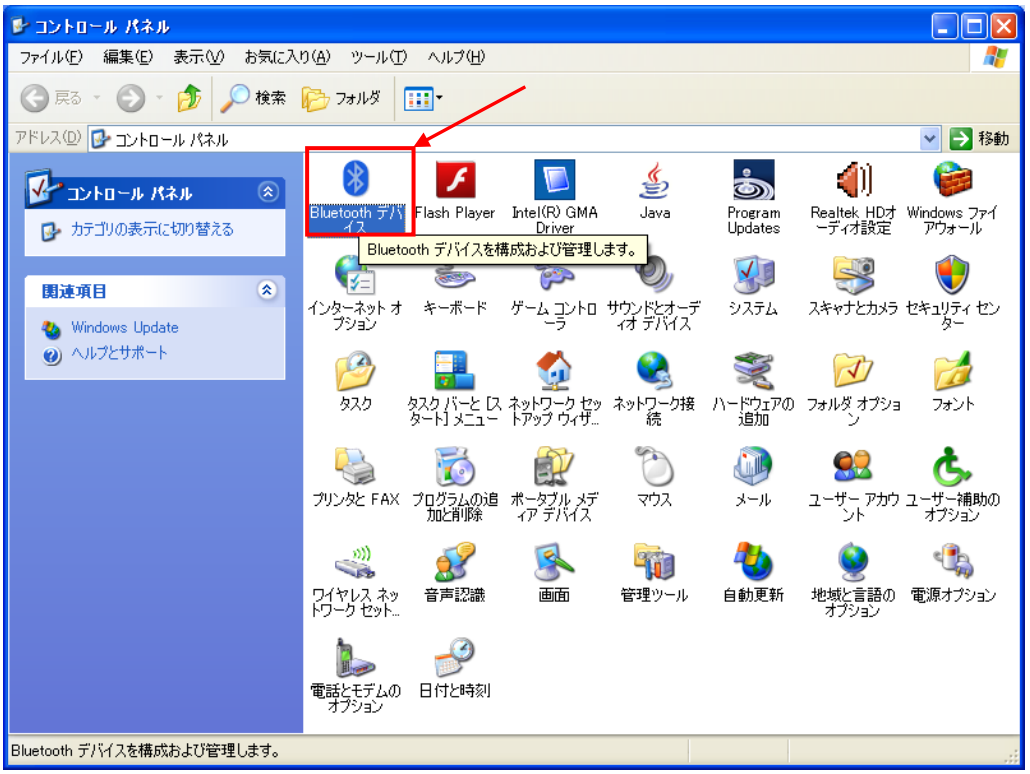
5、 RS232C 搭載機器との接続

本製品は、RS232C 搭載機器と接続するパソコンに Bluetooth のドライバーソフトが正常にインストールされていることを前提に接続方法の説明を行います。
Bluetooth のインストール方法は、使用する Bluetooth アダプターのインストール方法に従ってインストールしてください。
接続するパソコンやタブレット PC の OS は Bluetooth モジュールが搭載され、ドライバーが正常にインストールされている製品であればどれでも接続可能です。
御客様の専用アプリケーションに接続する場合も COM ポート（Bluetooth モジュール）とボーレート（通信速度）を設定するだけで接続可能です。
Bluetooth モジュールのバージョンは、Bluetooth Ver2.1+EDR 以上を推奨します。
Bluetooth デバイスへの接続方法は Bluetooth のバージョンや製造メーカの違いでかなり異なりますので使用する Bluetooth デバイスのメーカの取扱説明書と合わせて確認してください。
RS232C ワイヤレスコンバーターを RS232C 搭載機器に接続して電源を入れます。接続 LED は早い点滅（約 0.5 秒）をしています。

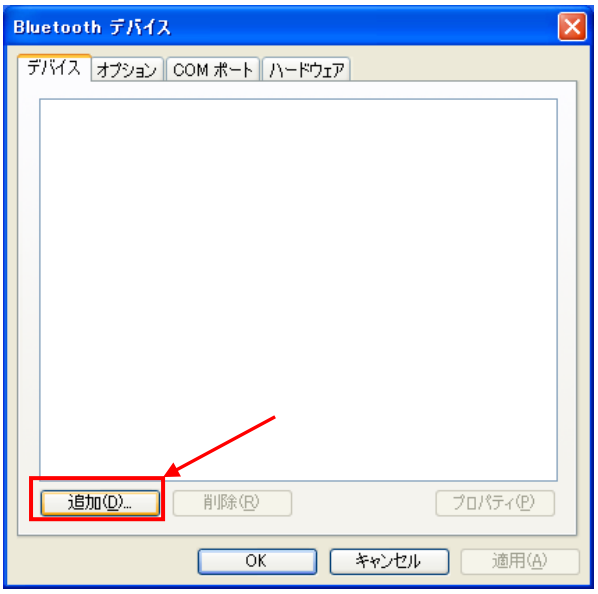
５－１、Windows XP + Bluetooth Ver2.0 の場合



５－１－１、「スタート」→「コントロールパネル」でコントロールパネルを開きます。



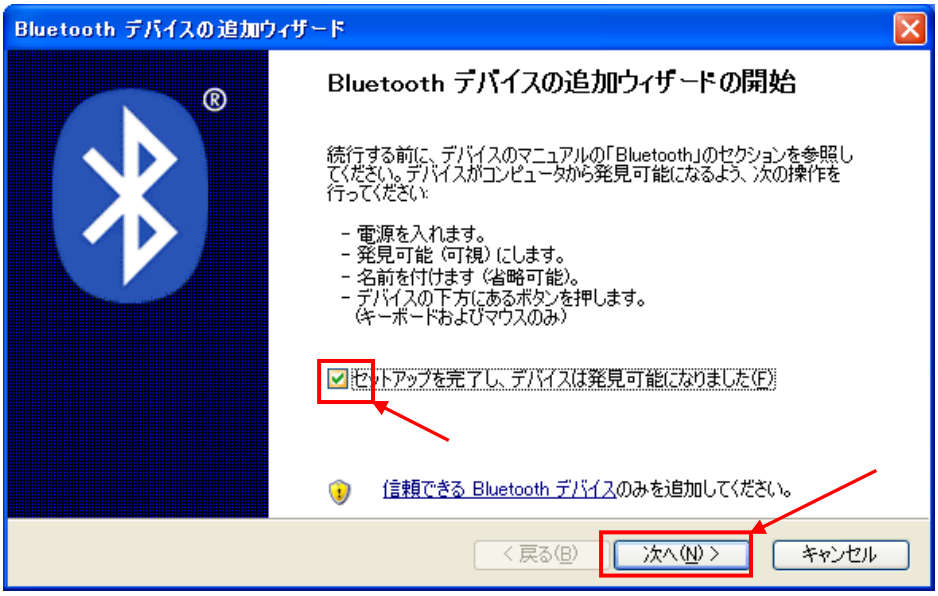
５－１－２、 コントロールパネルの Bluetooth デバイスをダブルクリックして Bluetooth デバイスのダイアログを開きます。



５－１－３、

Bluetooth ガイアログが開きます。

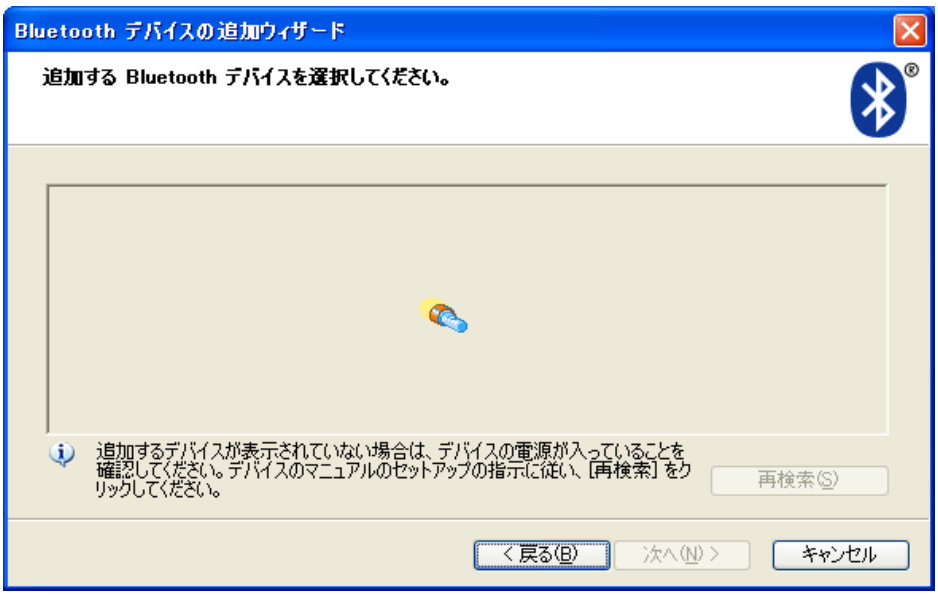
追加 ボタンをクリックします、「Bluetooth デバイスの追加ウィザードが開きます。



５－１－４、

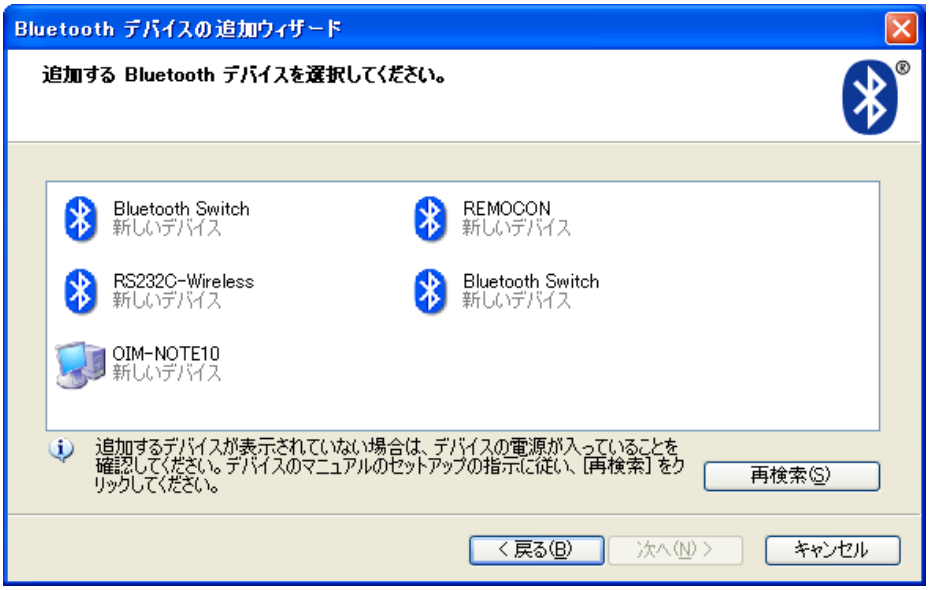
チェックボックスをチェックし、

次へ をクリックします。

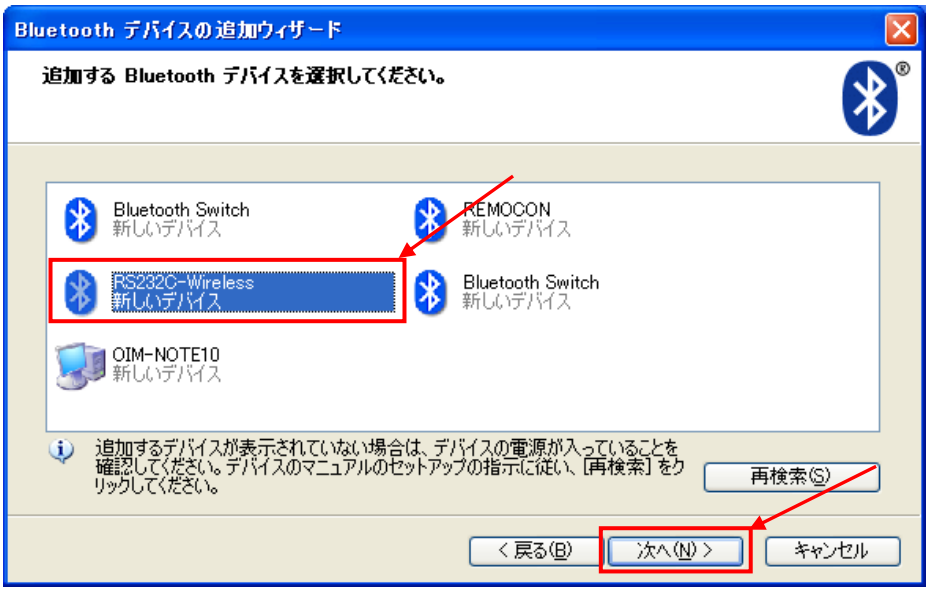


５－１－５、

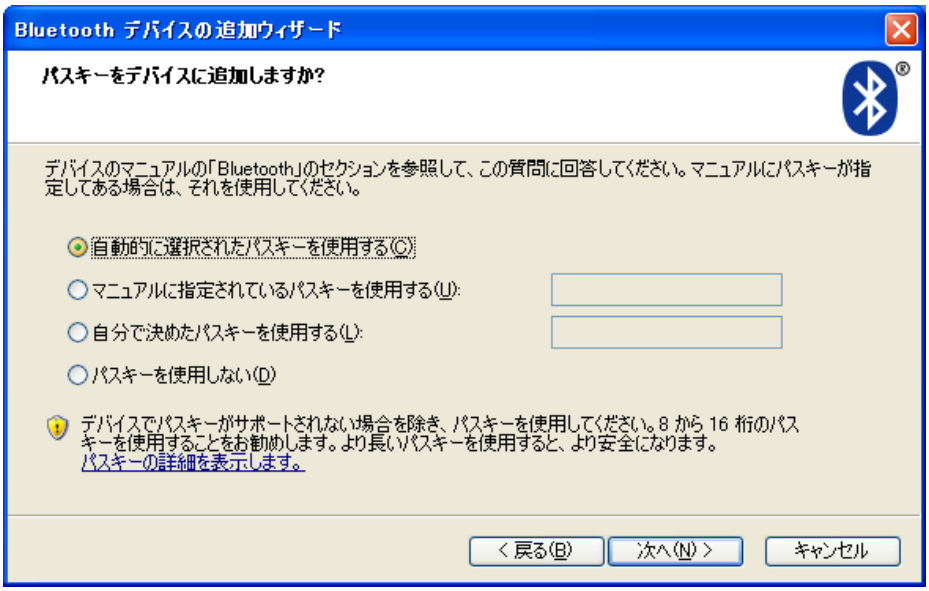
Bluetooth デバイスを検索する画面が表示され Bluetooth デバイスを検索が開始されます。



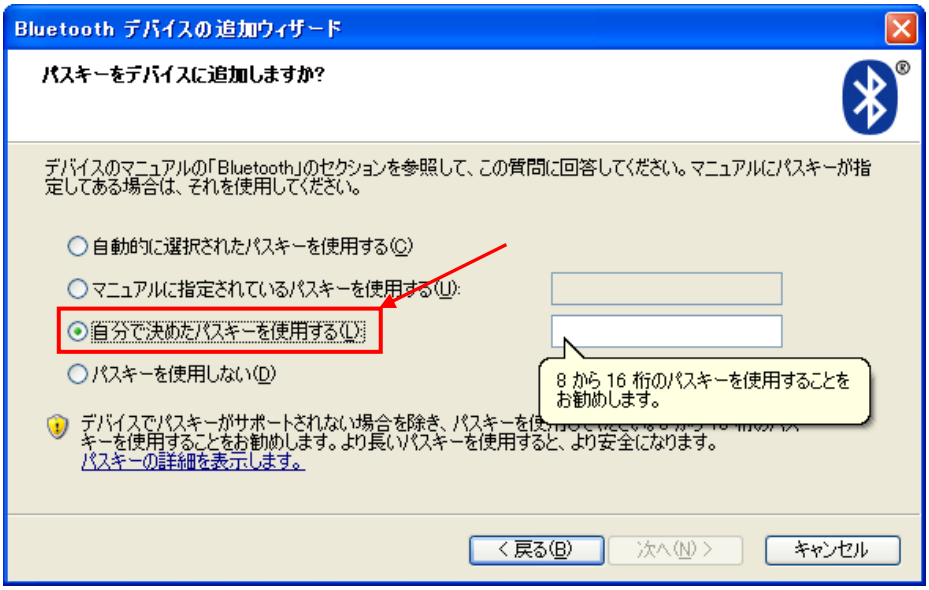
5－1－6
接続可能な Bluetooth デバイスが表示されます。



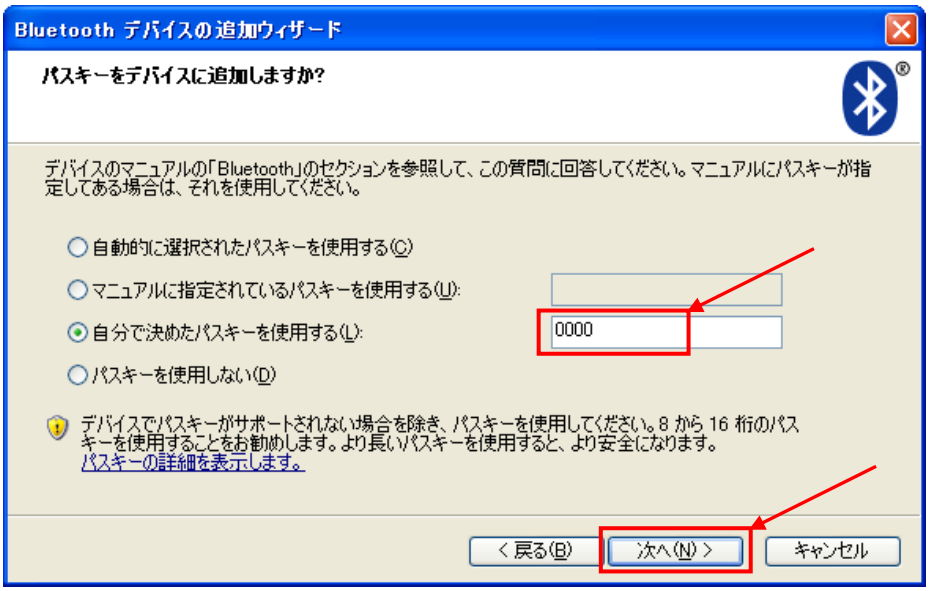
5－1－7、
接続する Bluetooth デバイスを選択して 次へ をクリックします。



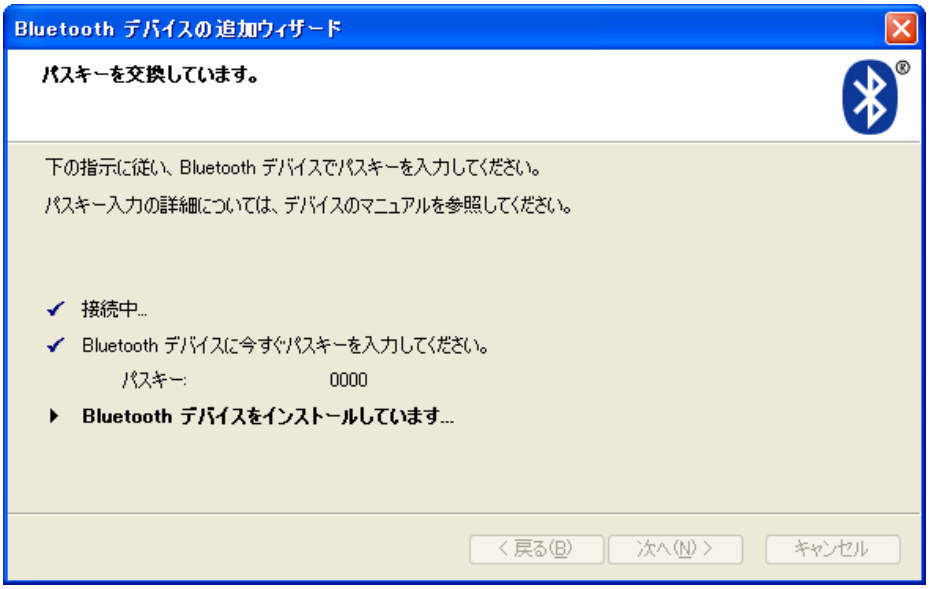
5－1－8、
パスキーを追加するか確認の画面が表示されます。



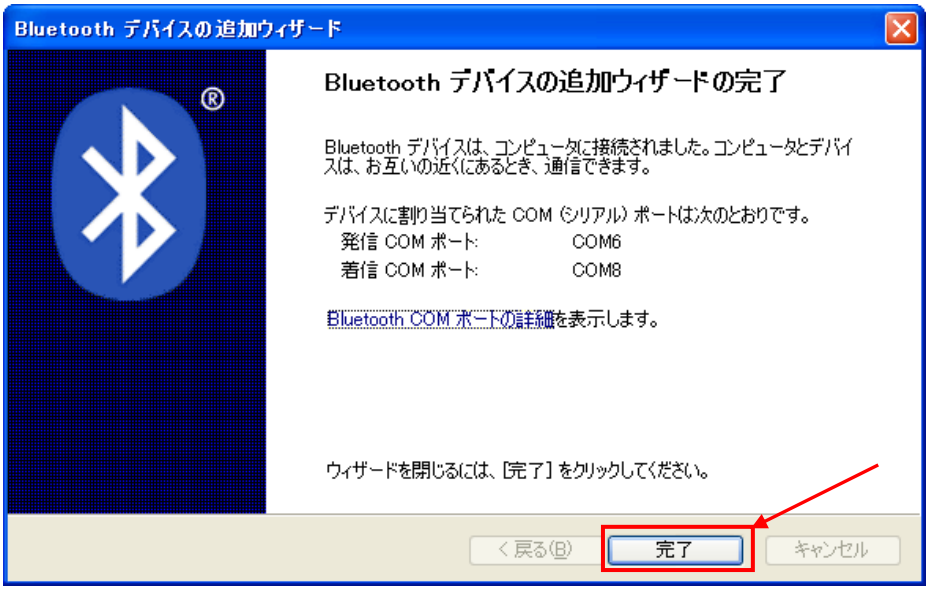
5－1－9
「自分で決めたパスキーを使用する」を選択します。



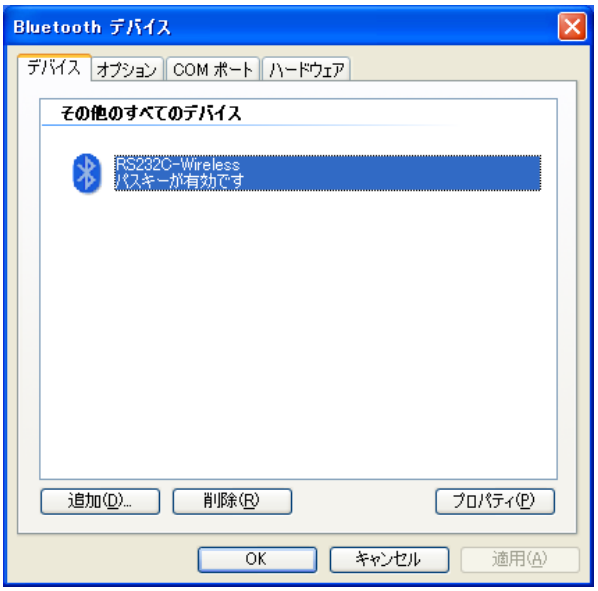
5－1－10、
パスキーはデフォルトでは「0000」を入力してください。パスキーを入力後 次へ をクリックします。
お客様が RS232C ワイヤレスコンバータの設定用アプリを使用して PIN コードを指定した場合は設定した PIN コードを入力してください。



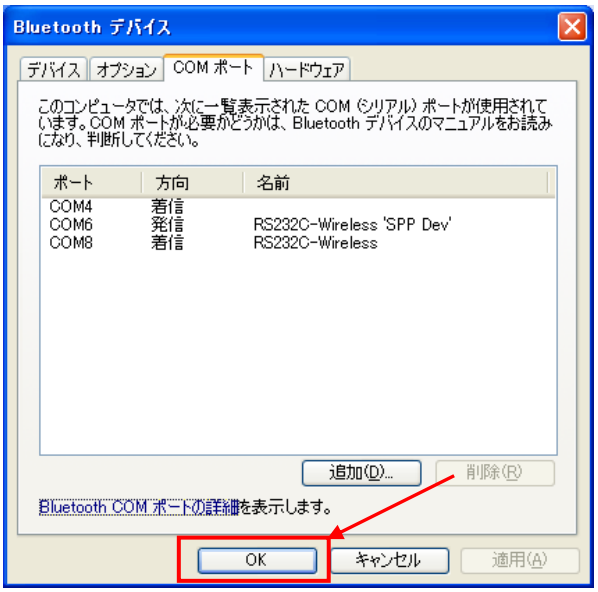
5－1－11、
「パスキーを交換しています」の画面が表示され Bluetooth デバイスがインストールされます。



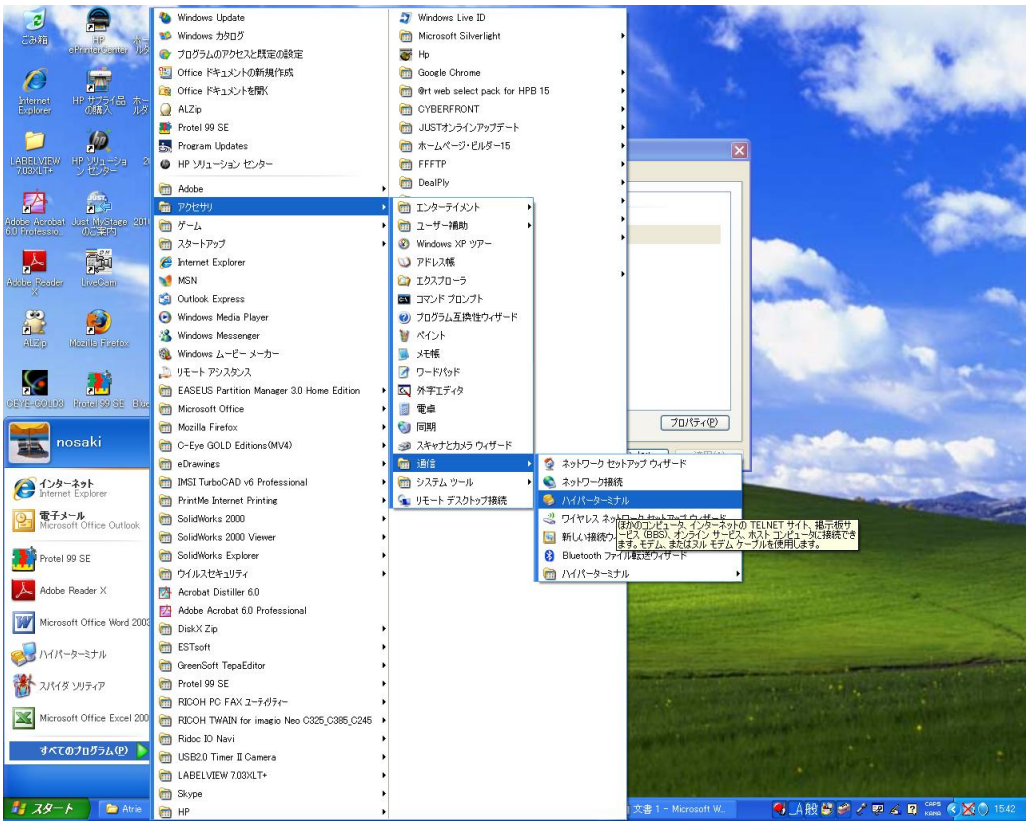
5－1－12、
Bluetooth デバイスが正常に追加されると「Bluetooth デバイスの追加ウィザードの完了」が表示されます。
デバイスに割り当てられた COM ポートが表示されますので忘れないようにしてください。
完了 をクリックすると、接続 LED が点灯し、
「Bluetooth デバイス」のダイアログの「デバイス」に、
RS232C-Wireless デバイスが追加されます。



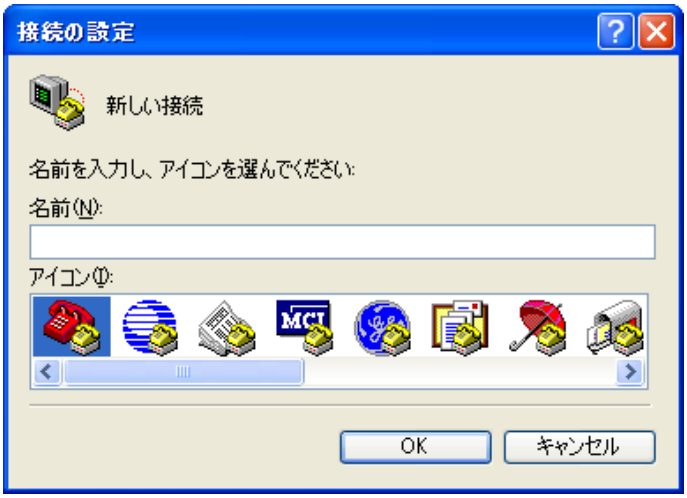
5－1－13、
「Bluetooth デバイス」のデバイスに複数のデバイスが表示されている場合は RS232C-Wireless を選択します。



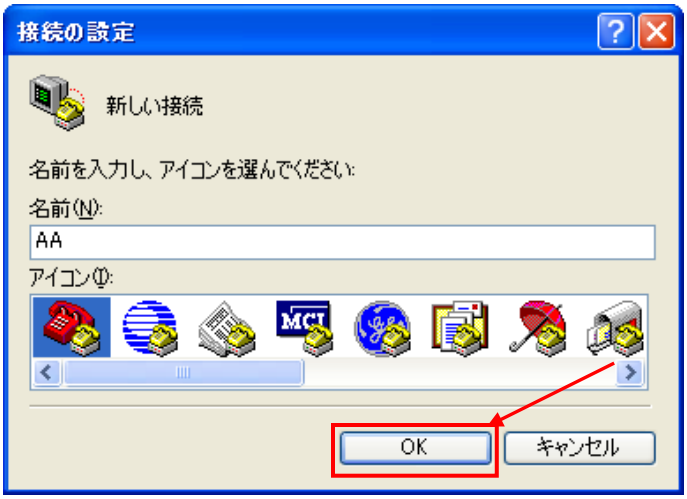
5－1－14、
「Bluetooth デバイス」の COM ポートを選択して割り当てられたポートを確認します。 設定された COM ポートと同じであれば OK ボタンをクリックします。



5－1－15、
RS232C ワイヤレスコンバーターのデータが正常に通信されていることを確認する為にハイパーターミナルを開きます。
「全てのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順でプログラムを開きます。

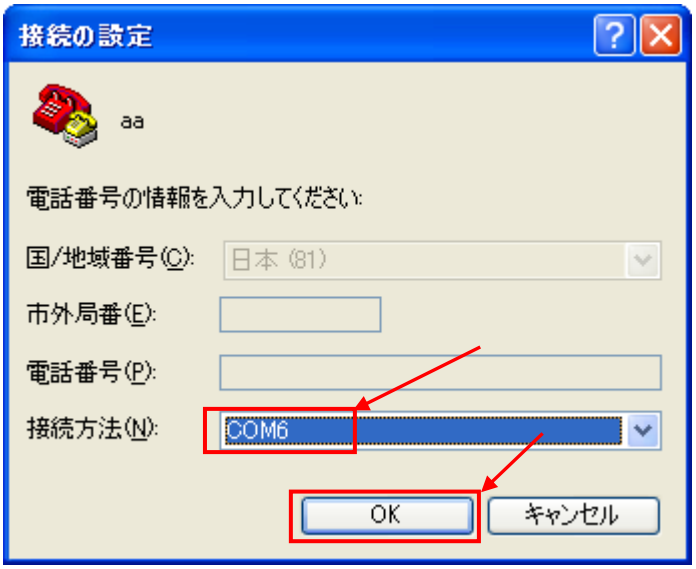


5－1－16、
「接続設定」のダイアログが表示されます。

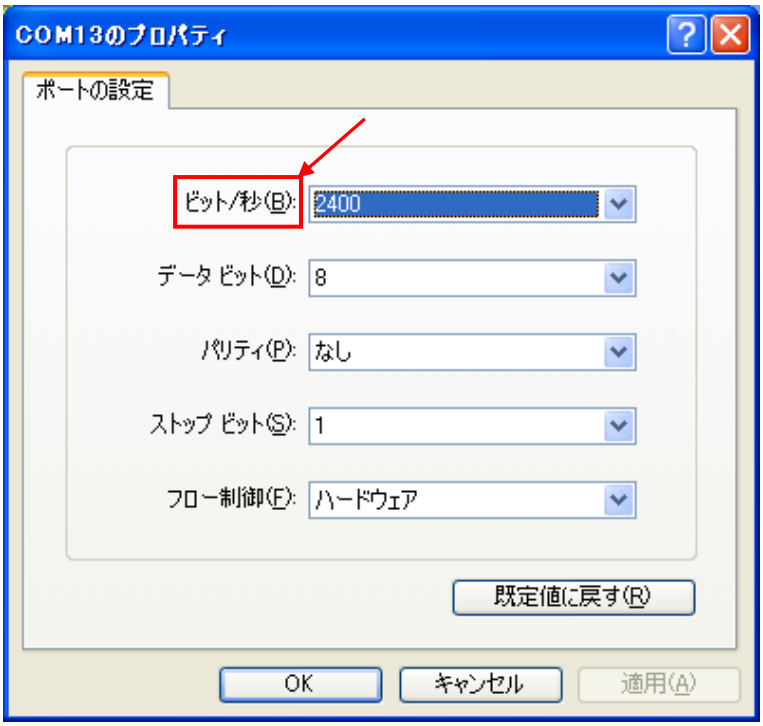


5－1－17、
「名前」を入力して OK ボタンをクリックします。

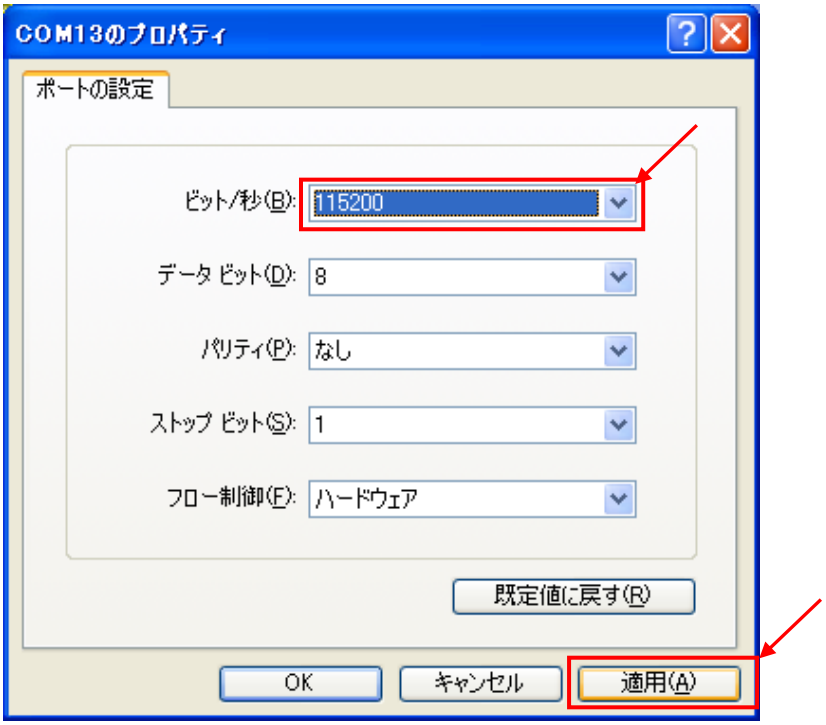
5－1－18
左のダイアログで、「接続方法」の選択ボックスから「Bluetooth デバイス」で決定された COM ポートを選択します。



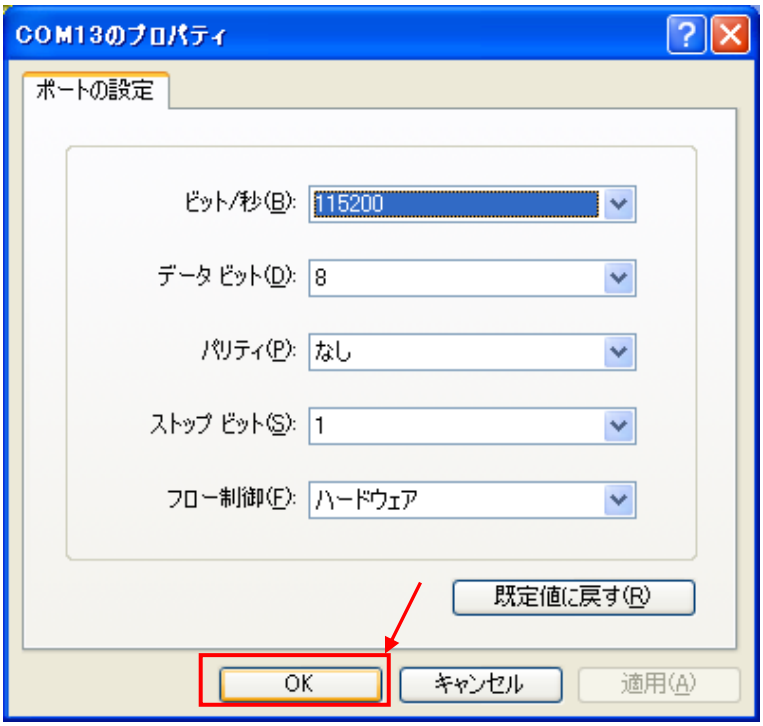
5－1－19、
COM ポートを選択したら OK ボタンをクリックします。



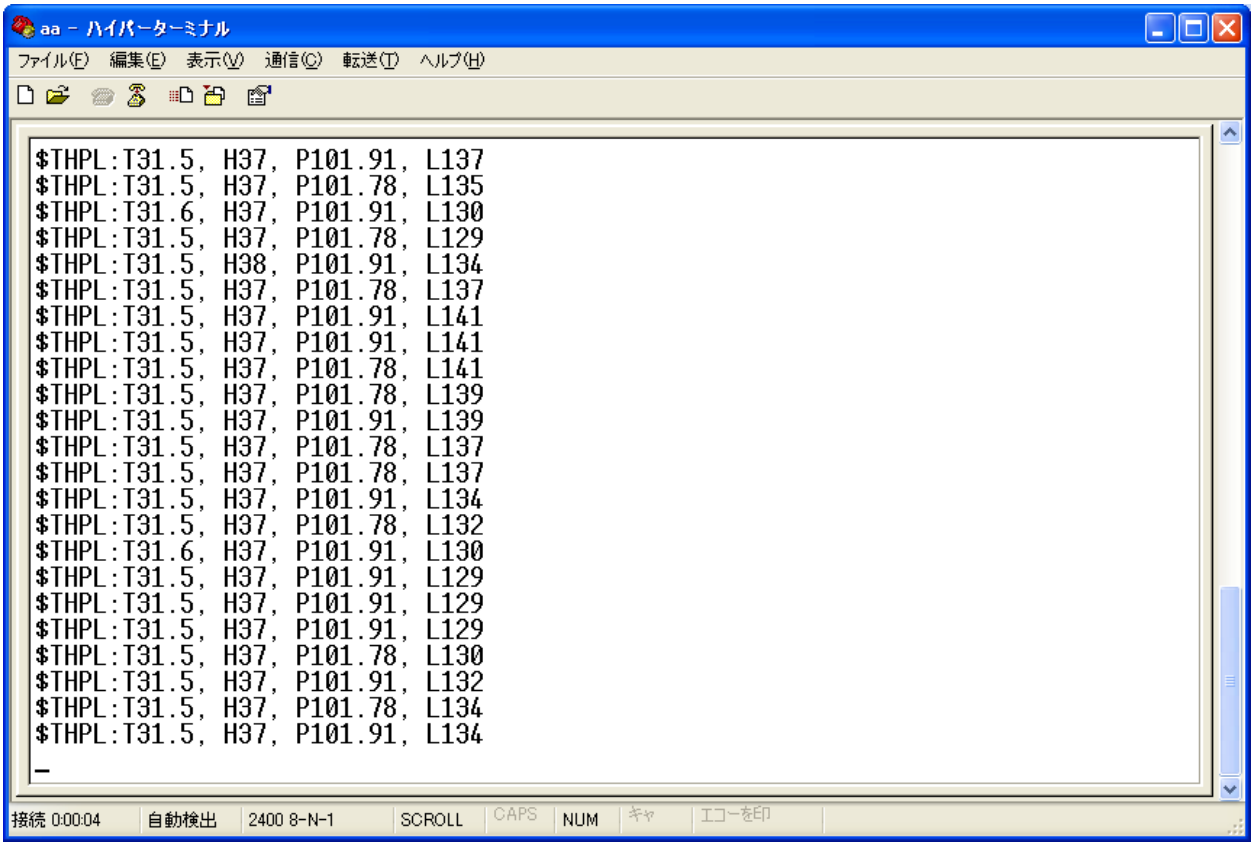
5－1－21、
COM ポートのプロパティ画面が表示されます。
RS232C ワイヤレスコンバーターの COM ポートのデフォルト設定値は、
通信速度:115200、
データビット:8、
パリティ:なし、
ストップビット:1、
フロー制御:ハードウェア、
です。



5－1－22、
通信速度の選択ボックスから「115200」を選択して 適用 ボタンをクリックします。

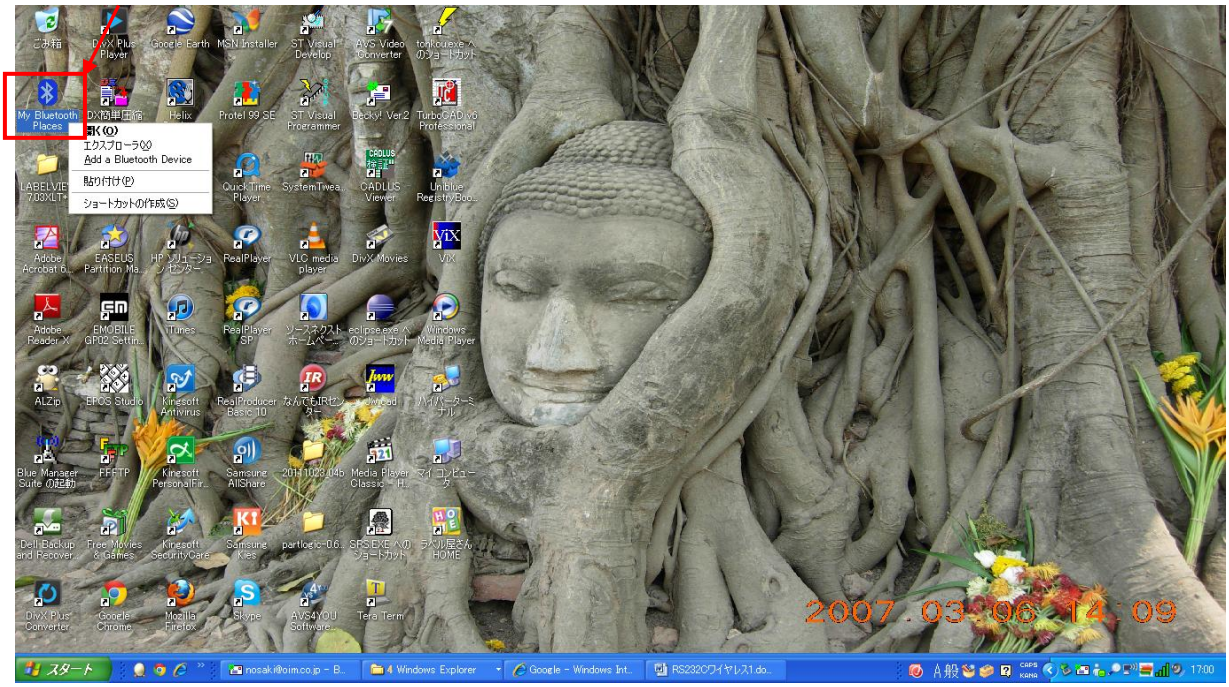


5－1－23、
次に OK ボタンをクリックします。
ハイパーターミナルソフトが起動します。

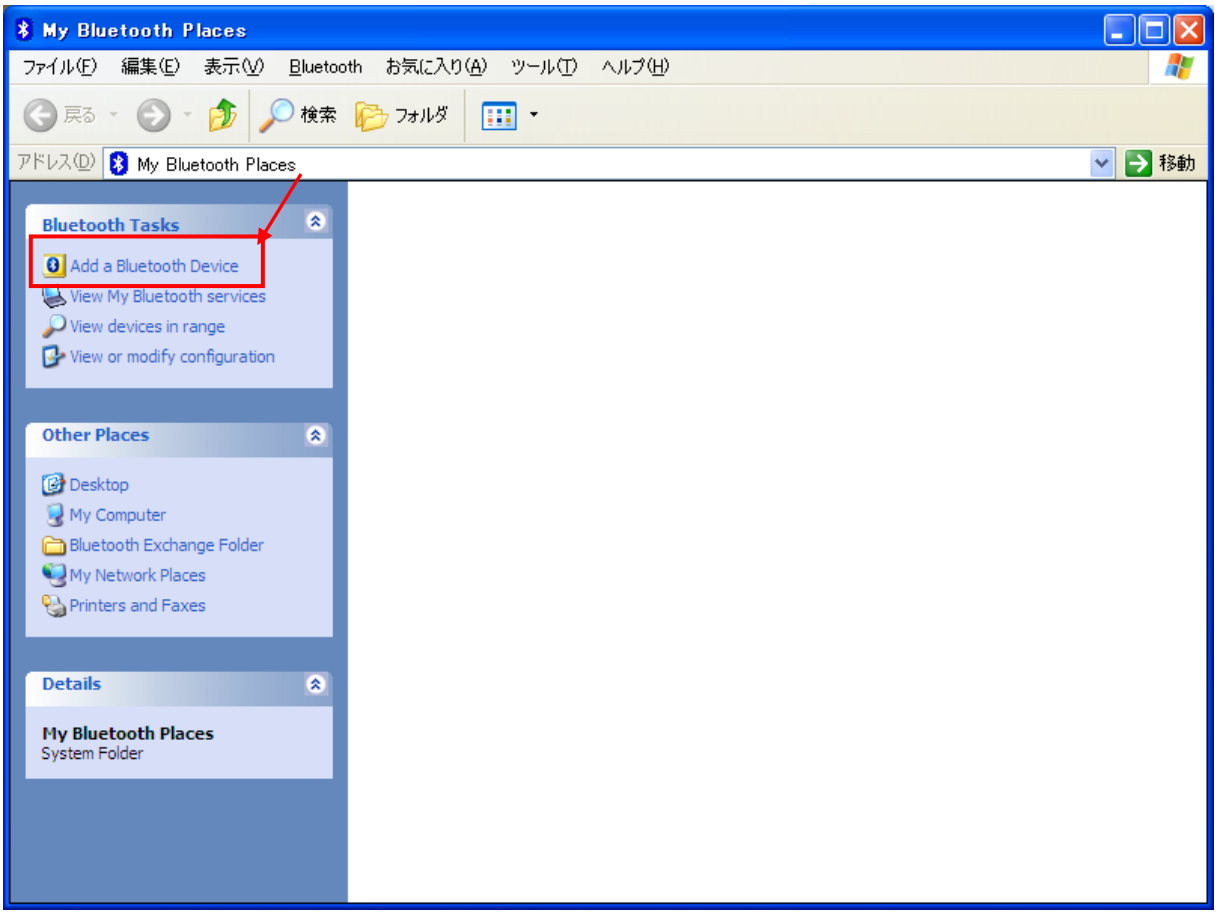


5－1－24、
起動したハイパーターミナルソフトに RS232C ワイヤレスコンバーターから送られてきたテキストデーターが表示されます。

５－２、Windows　XP Bluetooth Ver.2.1 の場合



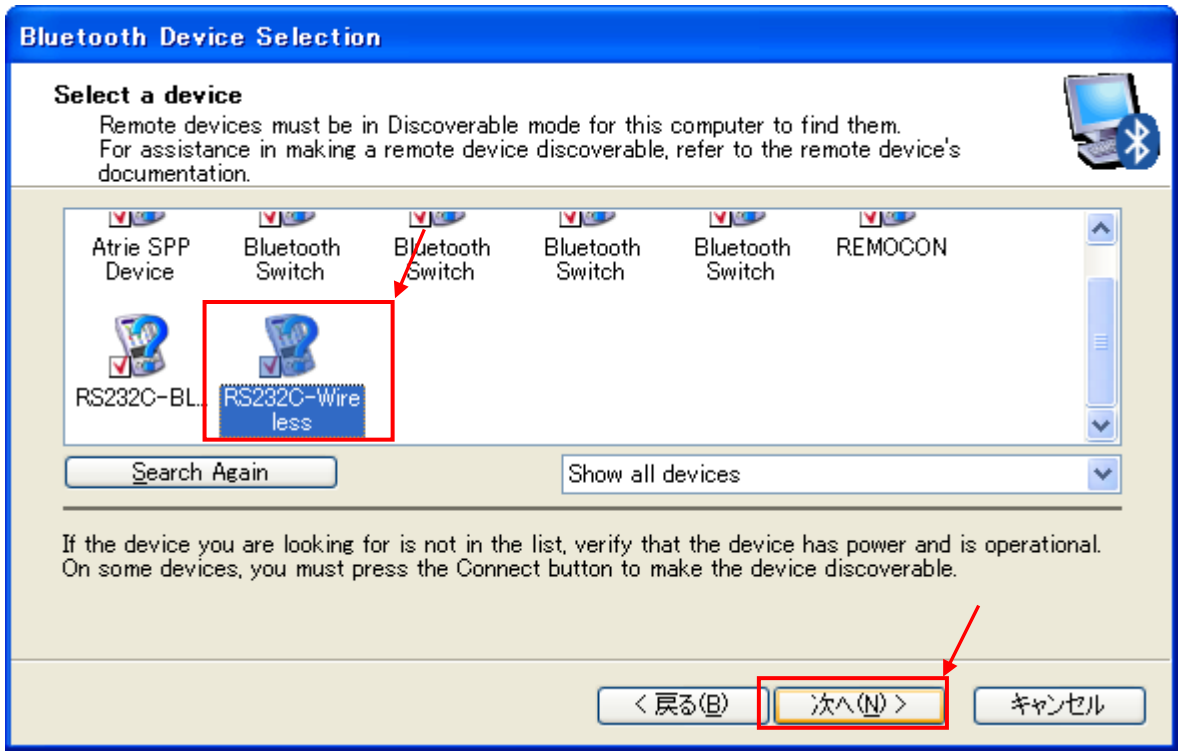
５－２－１、接続するパソコンの Bluetooth のバージョンが Bluetooth Ver2.1 の場合 Windows 画面の Bluetooth のアイコンをクリックします。



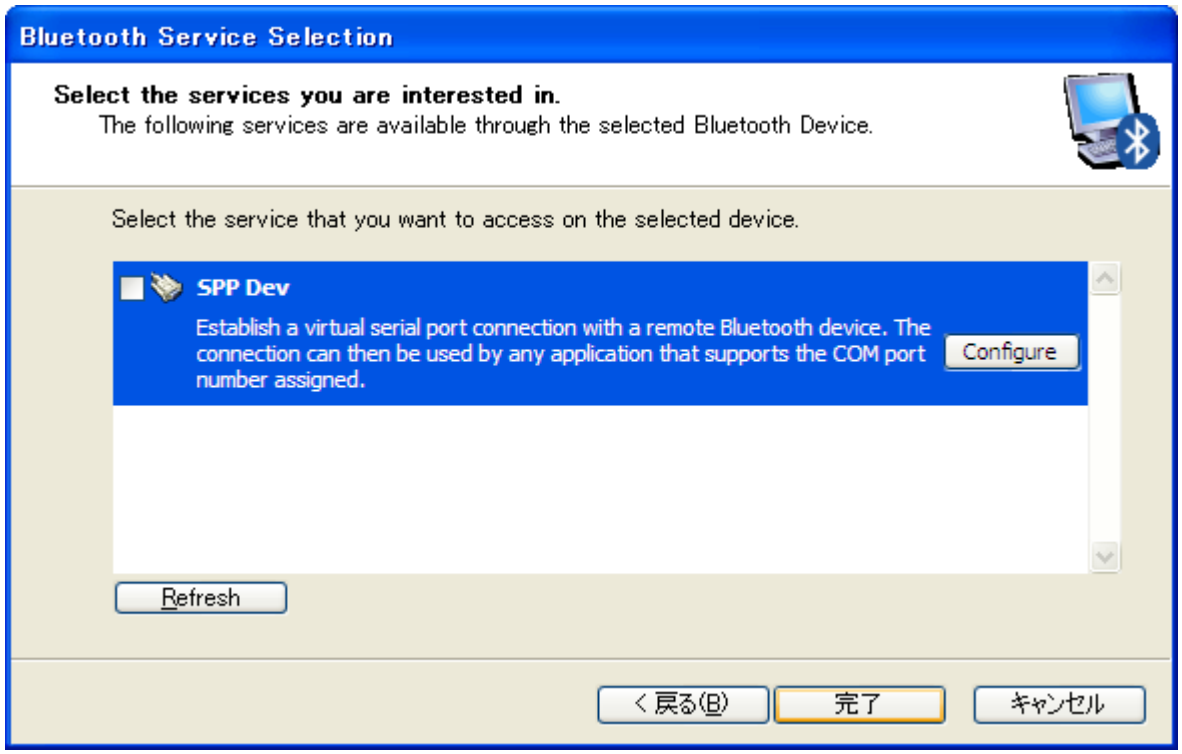
５－２－２、Bluetooth デバイスを追加する画面が表示されます。「Bluetooth デバイスの追加」をダブルクリックします。

５－２－３、Bluetooth 設定ウィザード画面が表示されます。 次へ ボタンをクリックします。

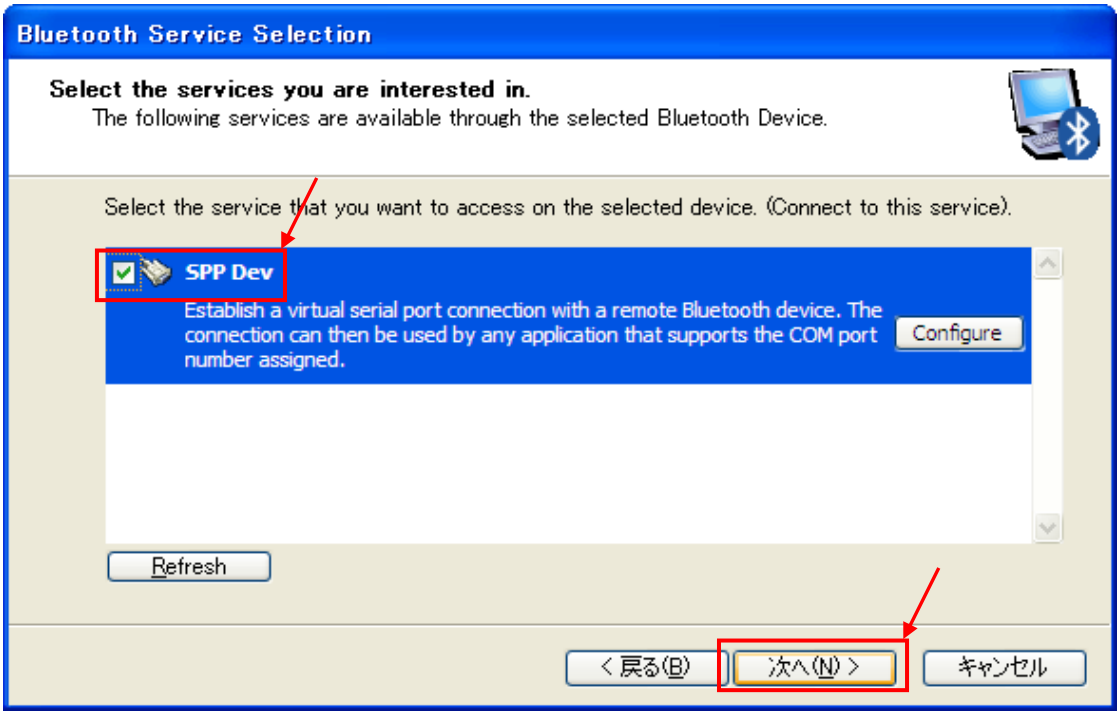
５－２－４、接続可能な Bluetooth 機器が表示されます。



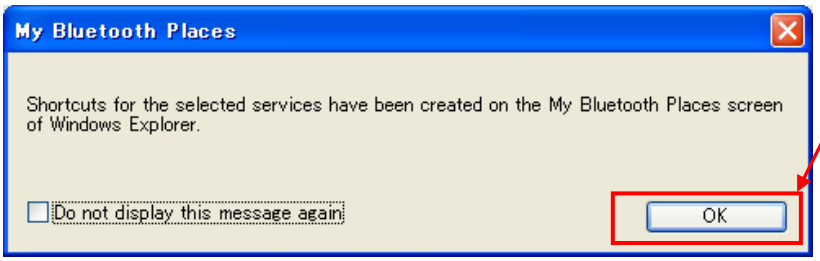
5－2－5、表示された Bluetooth 機器から「RS232C-Wireless」を選択して 次へ ボタンをクリックします。



5－2－6、選択したデバイスのドライバーソフトがインストールされたことを通知する画面が表示されます。

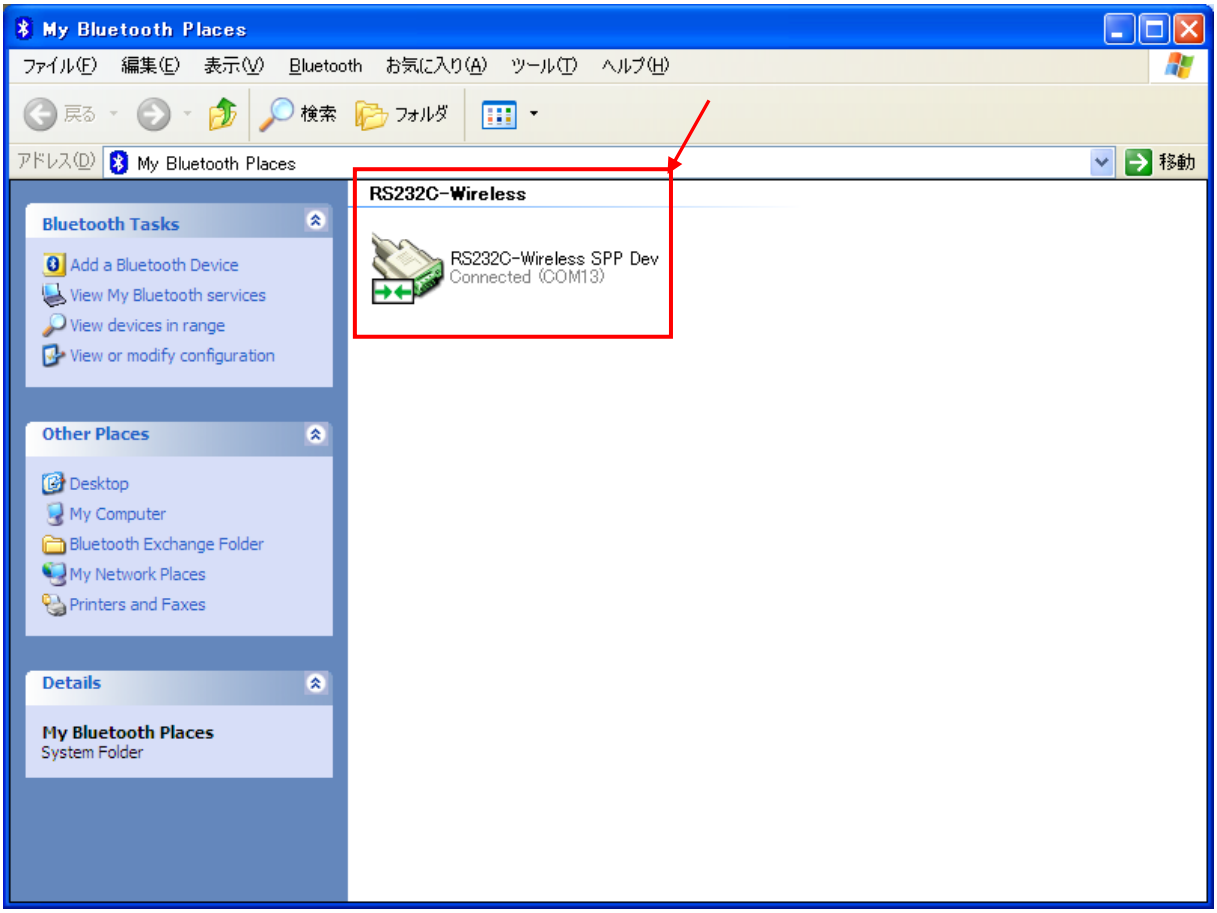


5－2－7、チェックボックスをチェックし 次へ ボタンをクリックします。



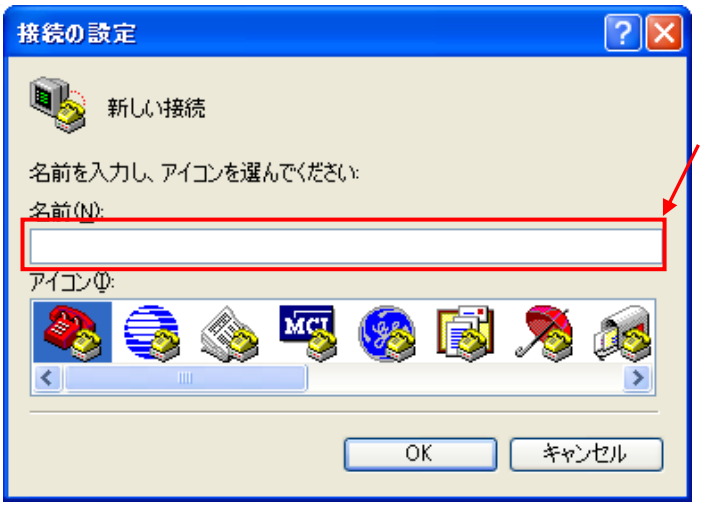
5－2－8、確認のダイアログボックスが表示されます OK ボタンをクリックします。

5－2－9、Bluetooth 設定ウィザードが完了した画面が表示されます。 完了 ボタンをクリックします。

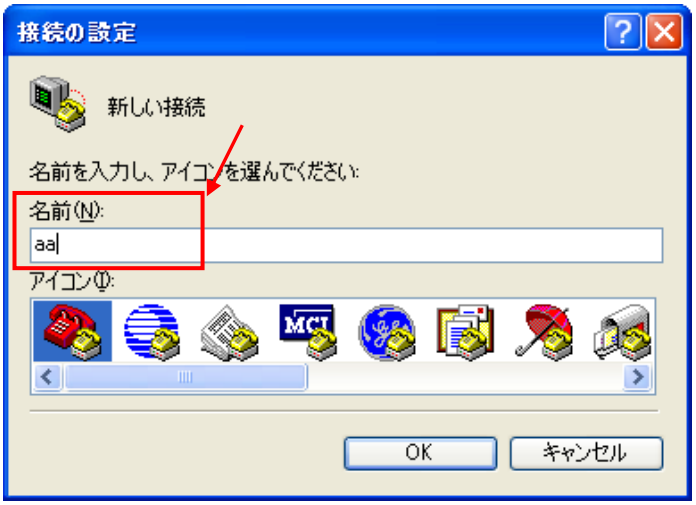


５－２－１０、Bluetooth デバイスの追加の画面に追加された Bluetooth 機器が表示されます。
追加された Bluetooth 機器には通信可能なマークと COM ポートが表示されています。

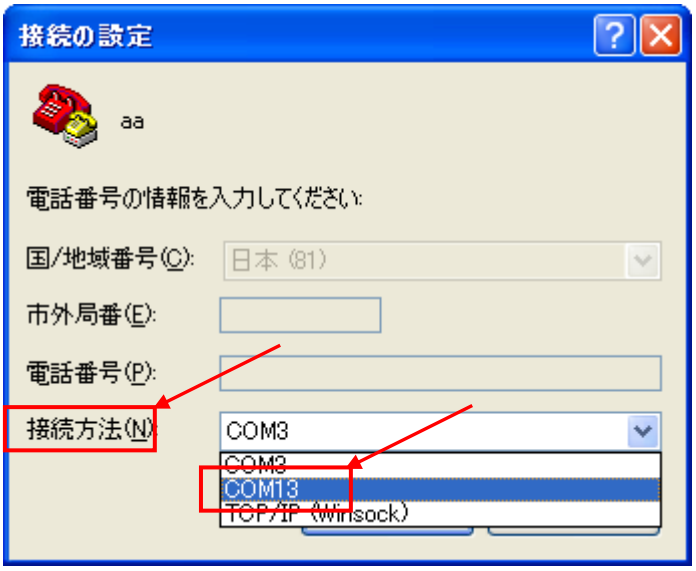
RS232C ワイヤレスコンバーターのデーターが正常に通信されていることを確認する為にハイパーターミナルを開きます。
「全てのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順でプログラムを開きます。



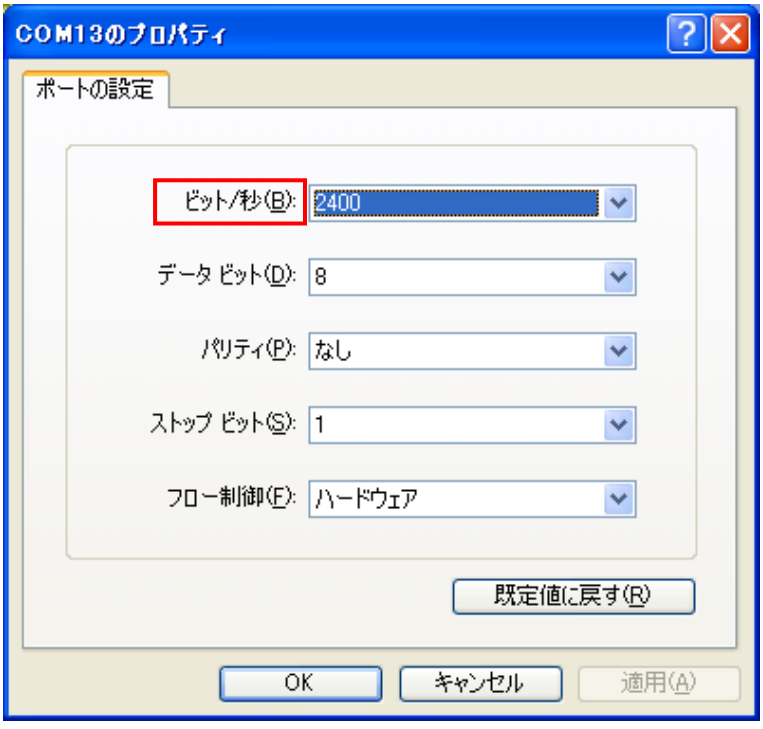
５－２－１１、
「接続設定」のダイアログが表示されます。



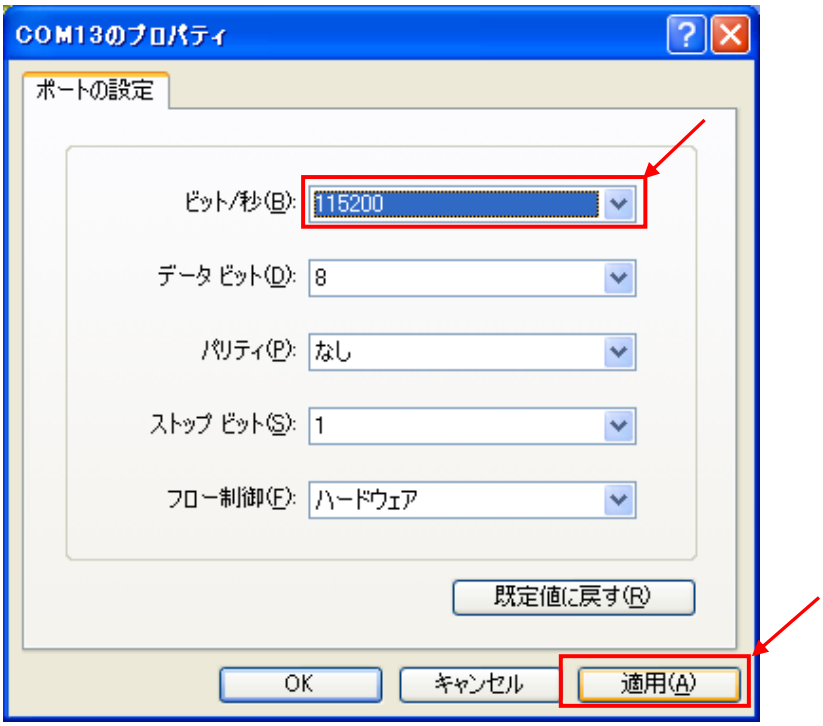
5－2－12、
「名前」を入力して OK ボタンをクリックします。



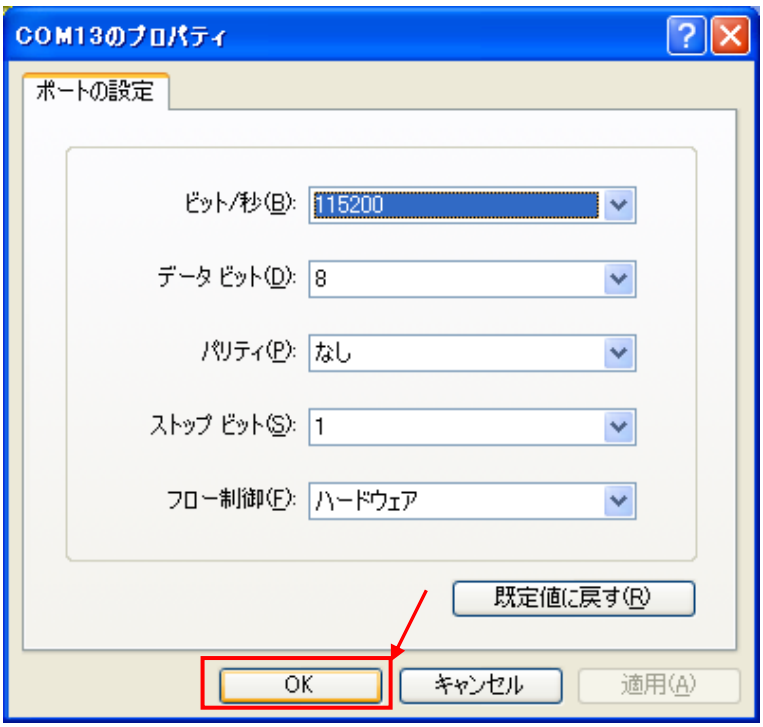
5－2－13
左のダイアログで、「接続方法」の選択ボックスから「Bluetooth デバイス」で決定された COM ポートを選択します。
COM ポートを選択したら OK ボタンをクリックします



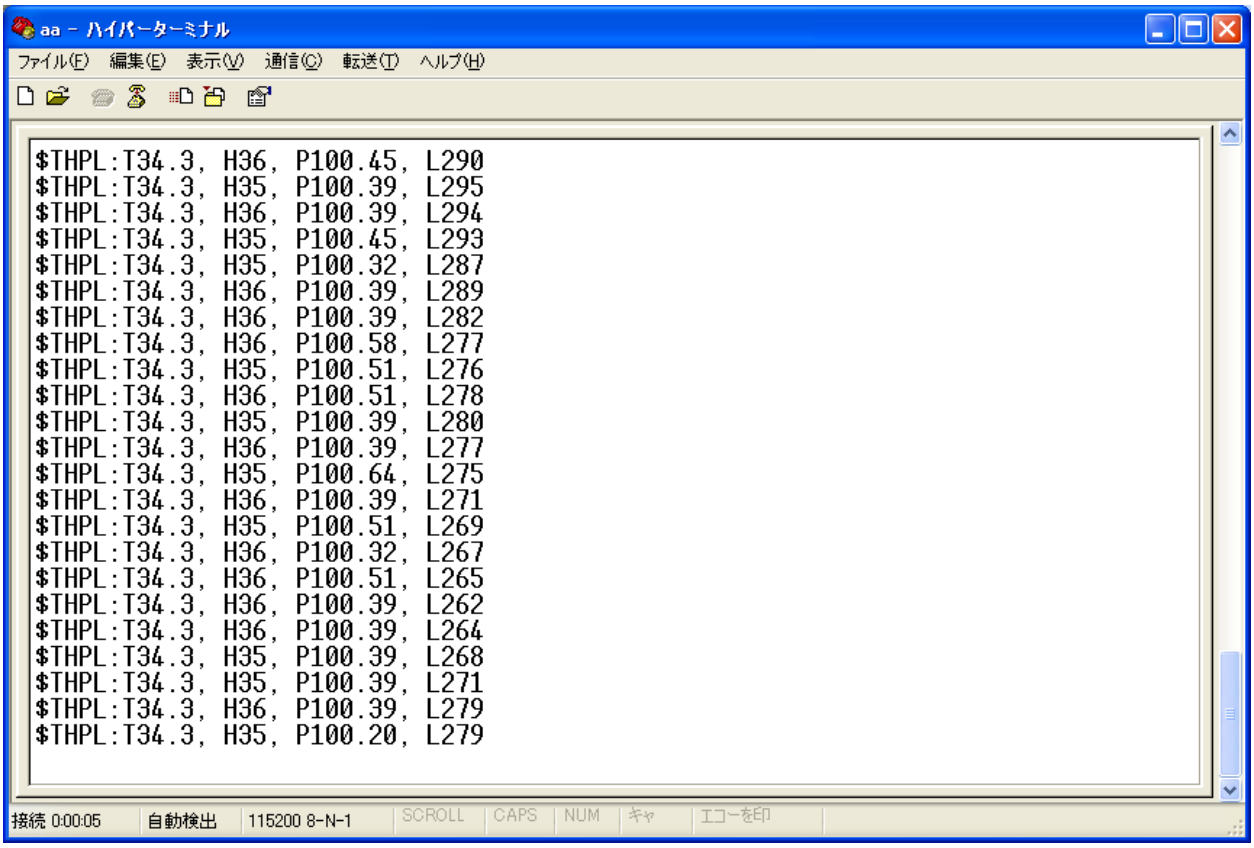
5－2－14、
COM ポートのプロパティ画面が表示されます。
RS232C ワイヤレスコンバーターの COM ポートのデフォルト設定値は、
通信速度:115200、
データビット:8、
パリティ:なし、
ストップビット:1、
フロー制御:ハードウェア、
です。



5－2－15、
通信速度の選択ボックスから「115200」を選択して 適用 ボタンをクリックします。



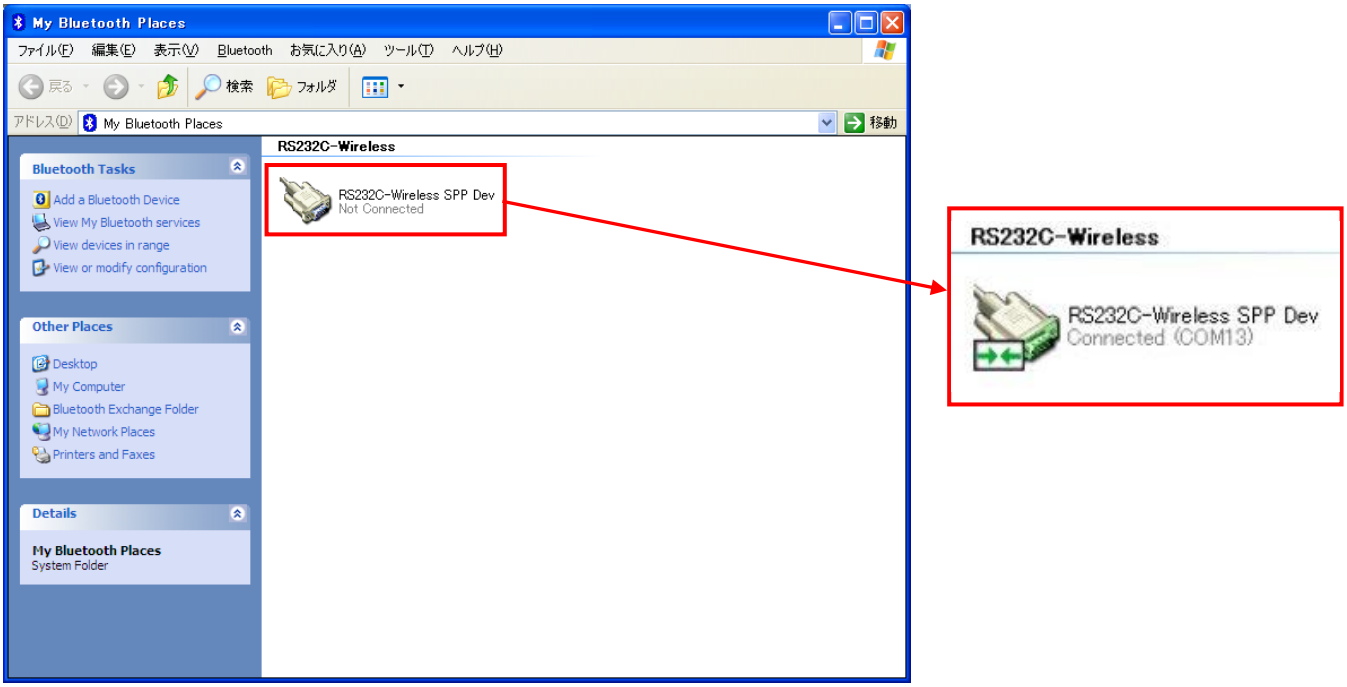
5－2－16、
次に OK ボタンをクリックします。
ハイパーターミナルソフトが起動します。



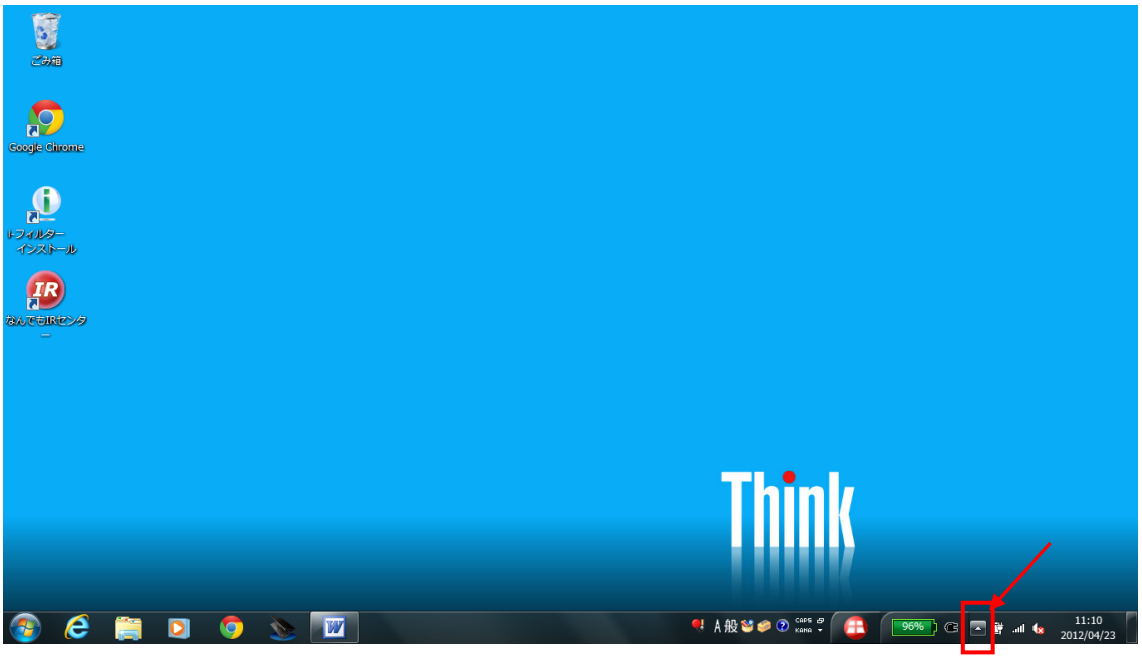
5－2－17、

起動したハイパーターミナルソフトに RS232C ワイヤレスコンバーターから送られてきたテキストデーターが表示されます。

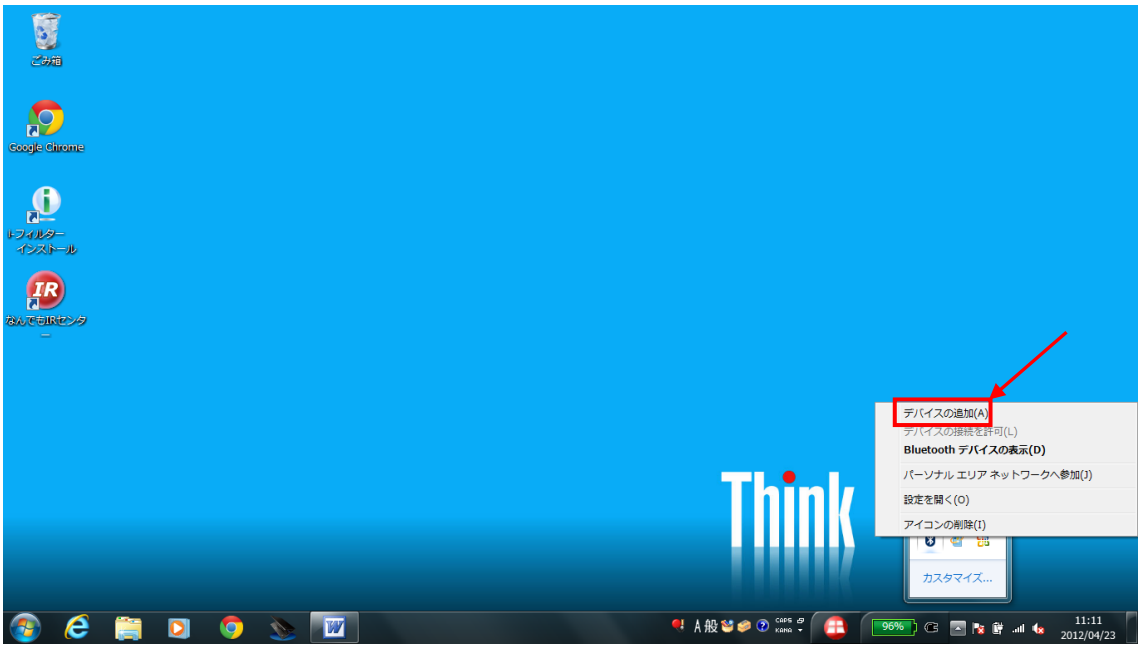
再接続を行う場合、Windows 画面の Bluetooth アイコンをダブルクリックすると下記の Bluetooth デバイスのダイアログ画面が表示されパソコンに接続可能な Bluetooth デバイスのアイコンが表示されています。接続するアイコンをダブルクリックすると接続され接続マークと COM ポート番号が表示されます。



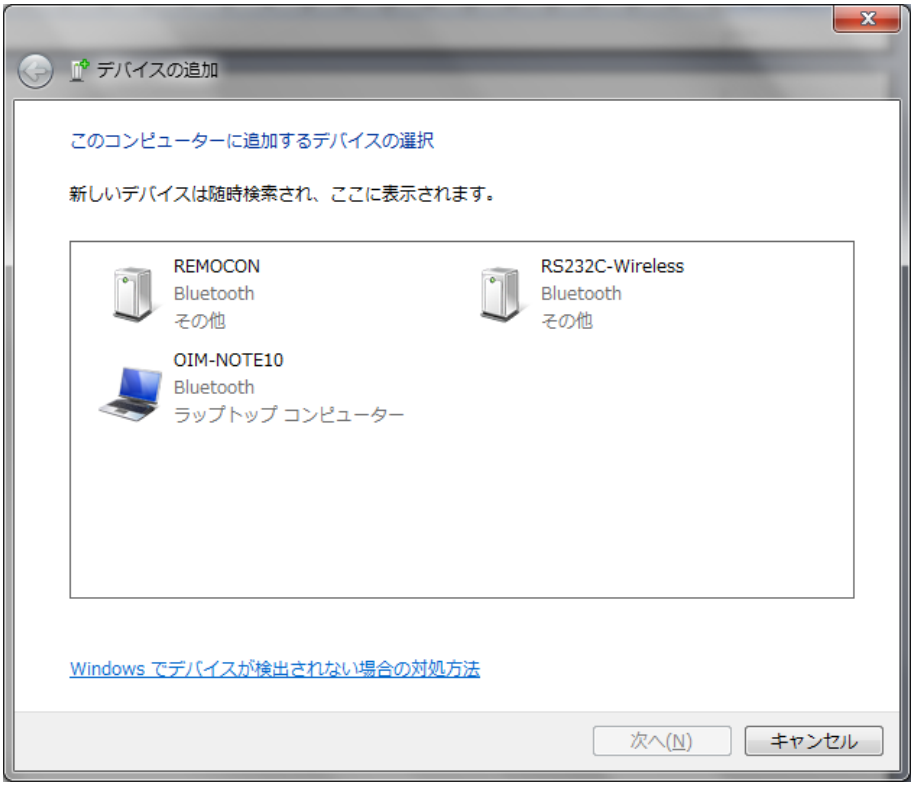
５－３、Windows7 Bluetooth 3.0 の場合



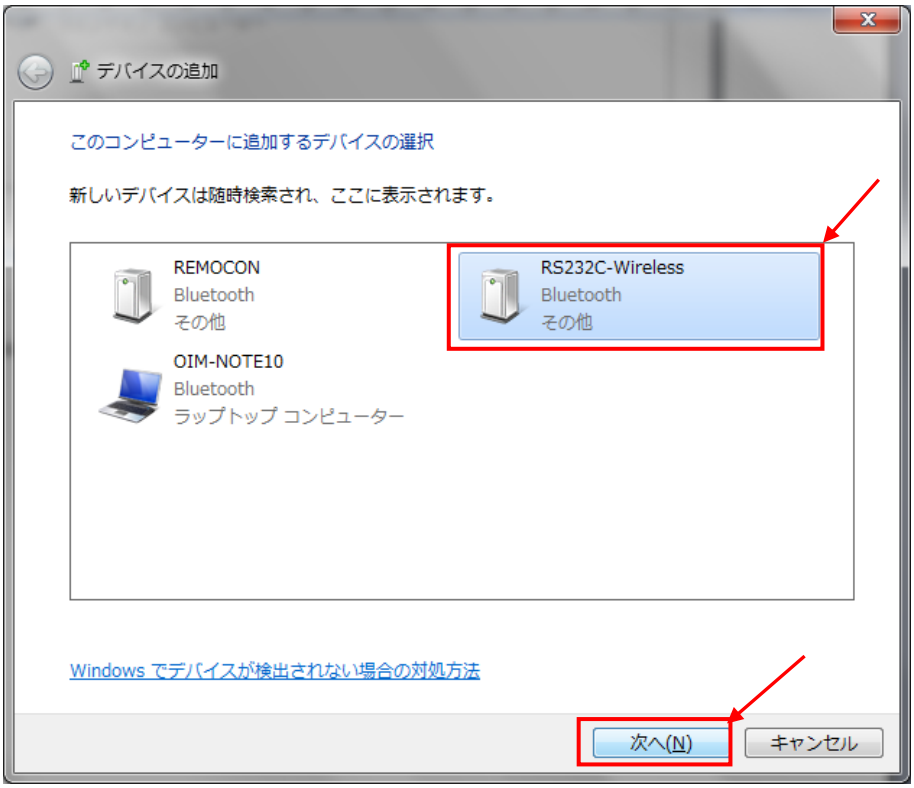
５－３－１、Windows 7 の画面のインジケータ部分のアプリアイコンをクリックします。
起動可能なアプリケーションが表示されます。Bluetooth のアイコンを選択しクリックすると Bluetooth 設定ダイアログが表示されます。



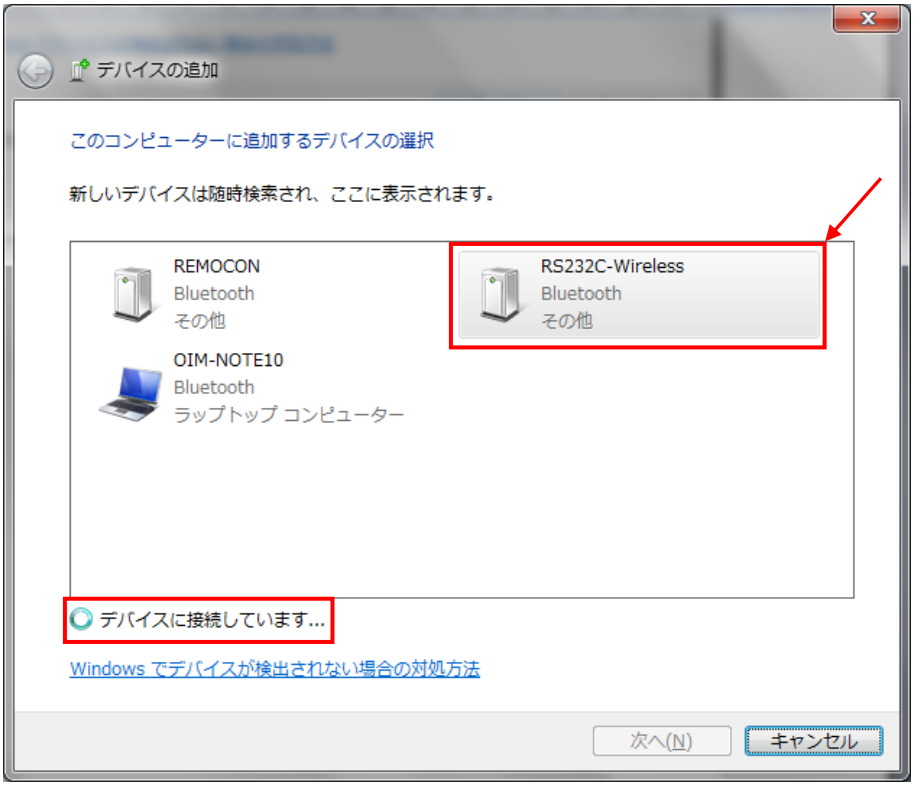
５－３－２、Bluetooth のダイアログから「デバイスの追加」を選択しクリックします。



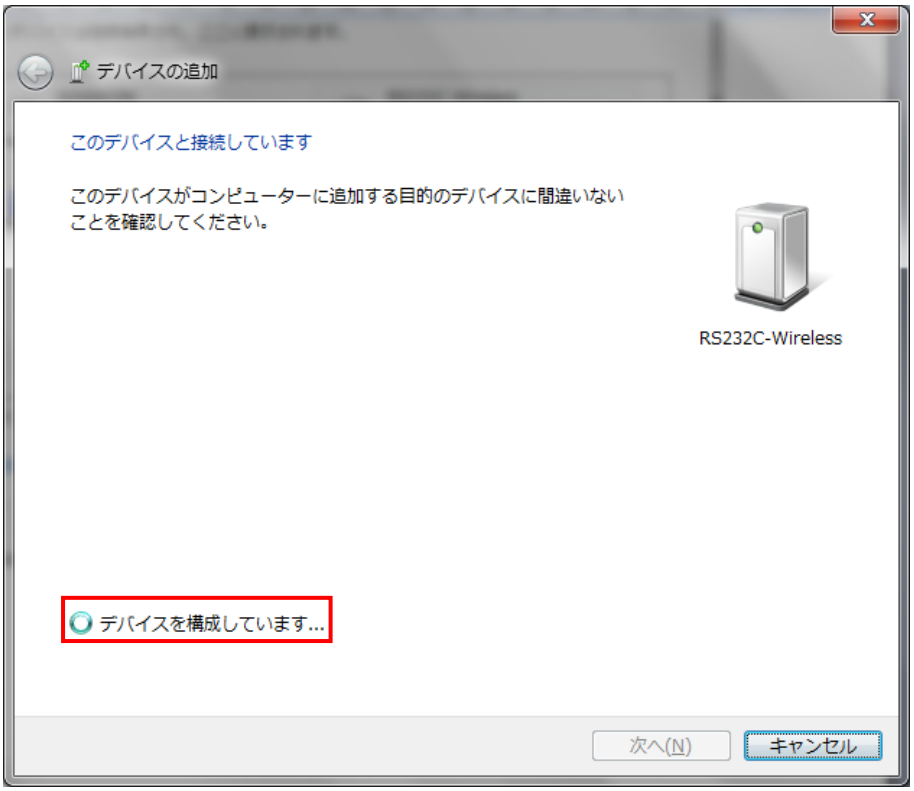
5－3－3、「デバイスの追加」のダイアログが表示され、パソコンに接続可能なBluetooth機器が表示されます。



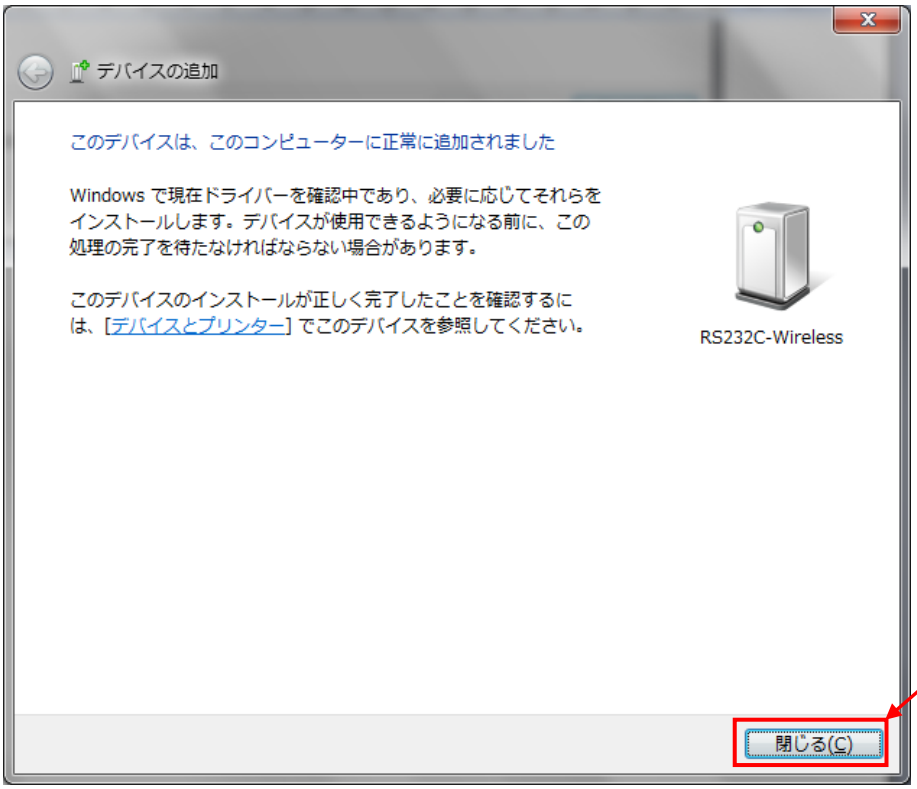
5－3－4、表示された Bluetooth 機器から「RS232C-Wireless」を選択して 次へ ボタンをクリックします。



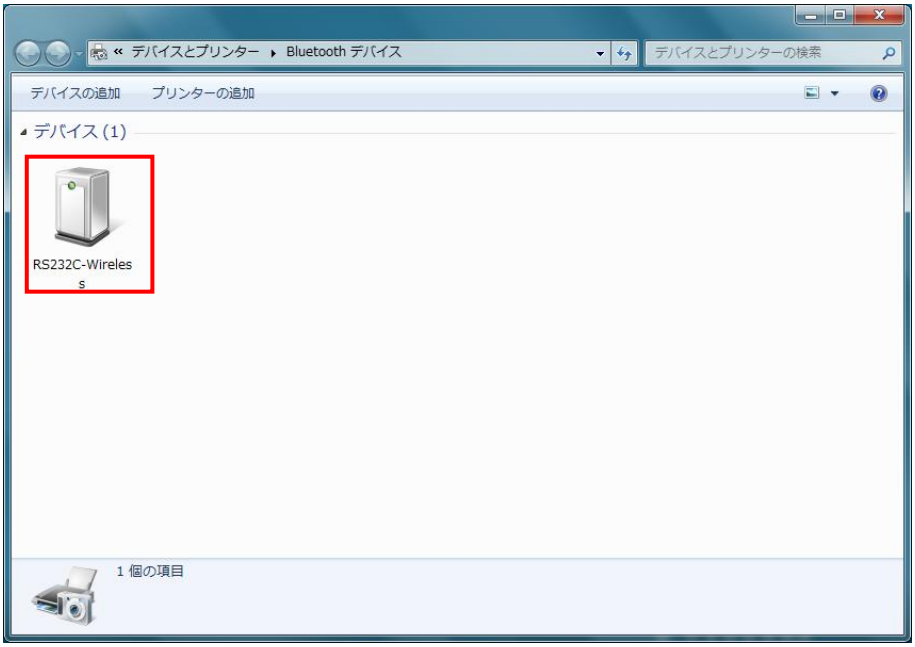
5－3－5、選択したデバイスに接続中のダイアログ画面が表示されます。



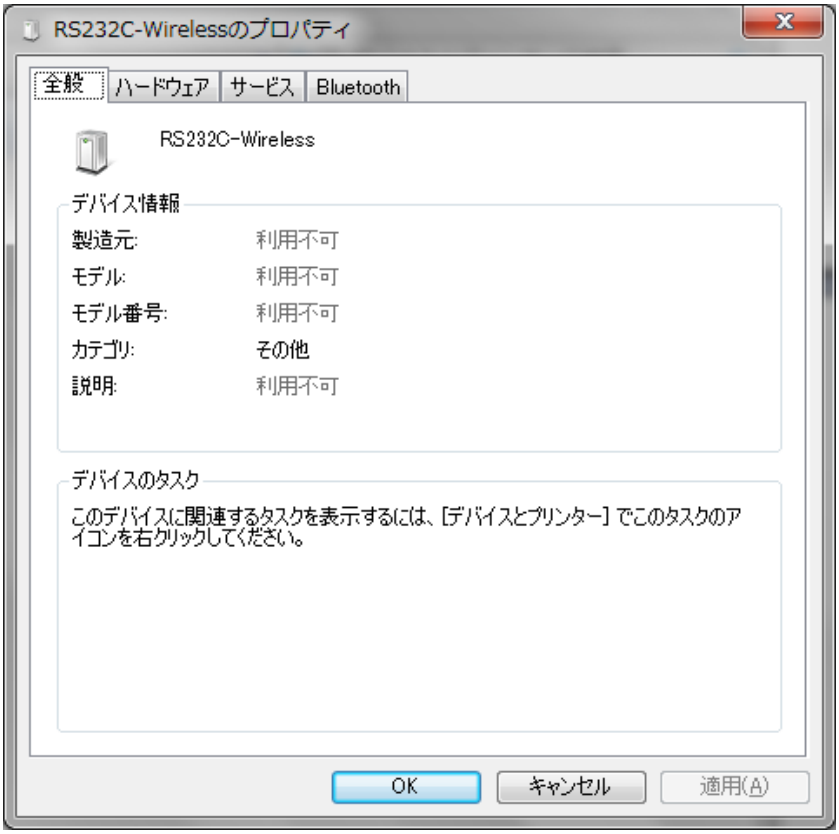
5－3－6、選択したデバイスに構成中のダイアログ画面が表示されます。



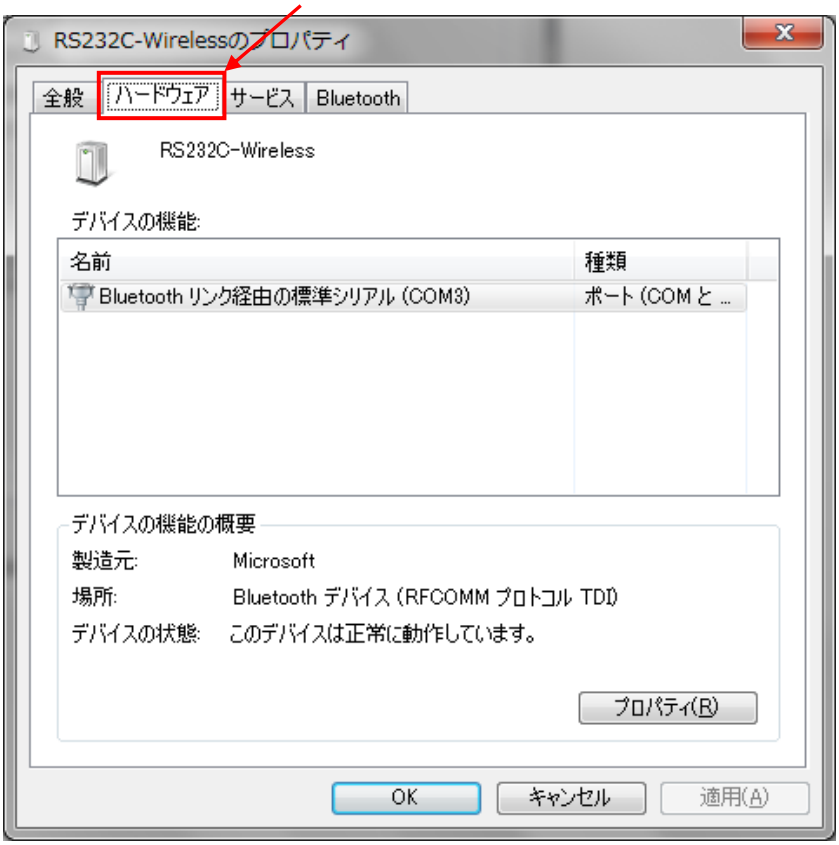
5－3－7、選択したデバイスが正常に追加されたダイアログ画面が表示されます。 閉じる ボタンをクリックします。



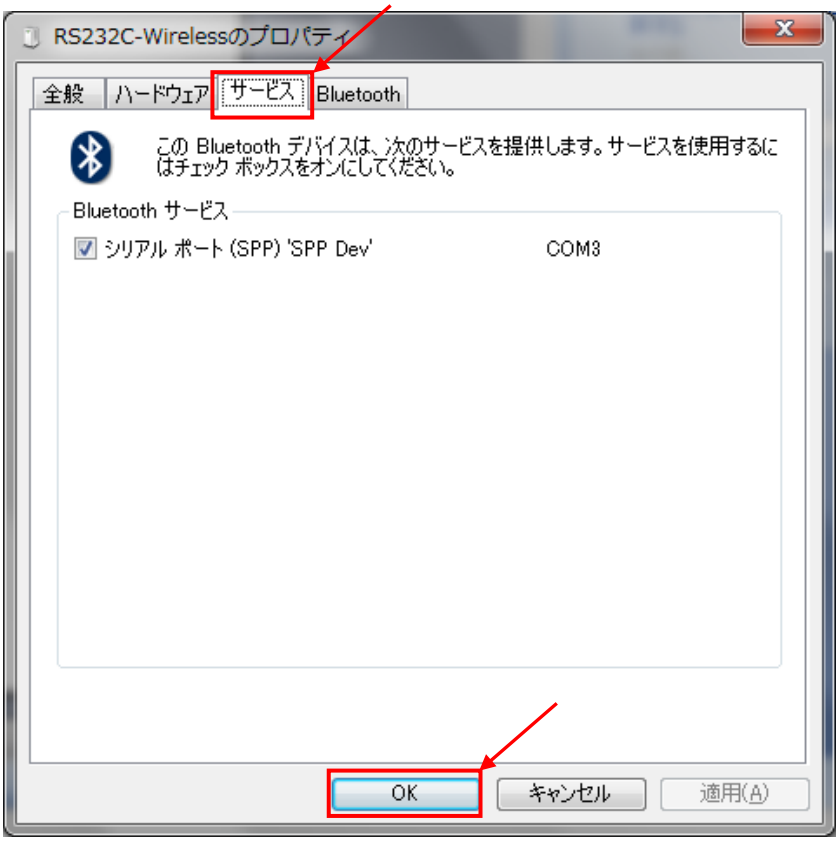
5－3－8、追加された Bluetooth デバイスが評されます。追加された Bluetooth デバイスを選択してダブルクリックすると選択した Bluetooth デバイスのプロパティのダイアログが表示されます。



5－3－9、選択した Bluetooth デバイスのプロパティのダイアログが表示です。

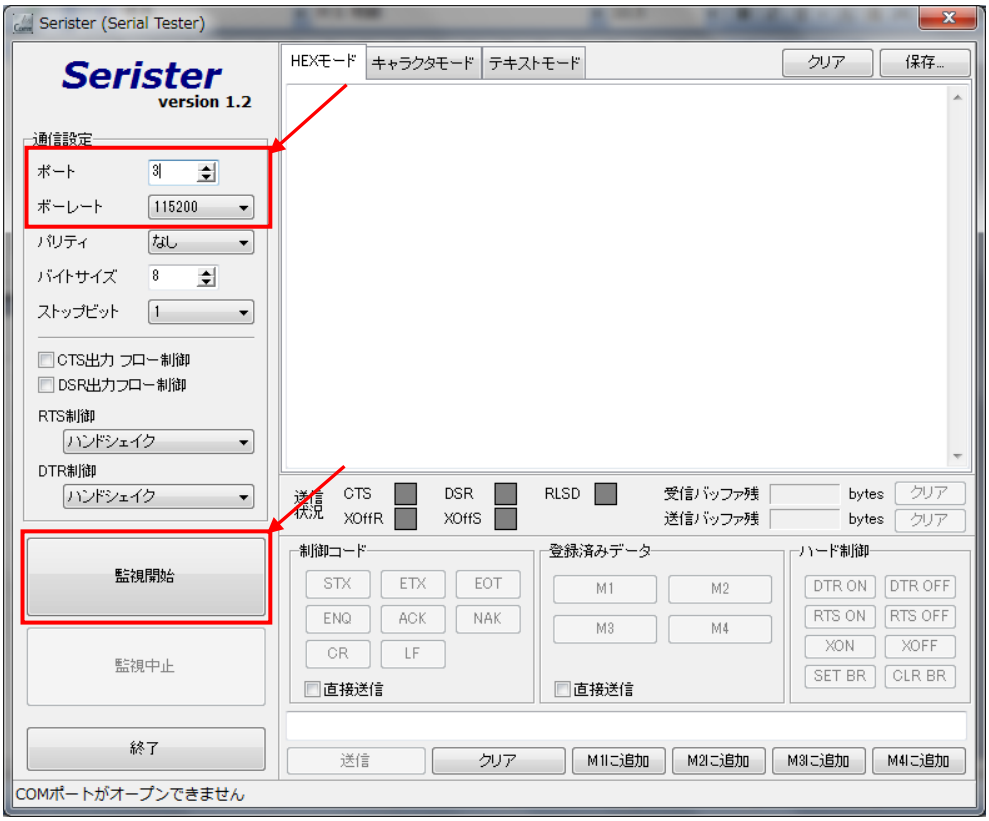


5－3－10、Bluetooth デバイスのプロパティの「ハードウェア」で Bluetooth デバイスが接続可能な COM ポートを確認します。



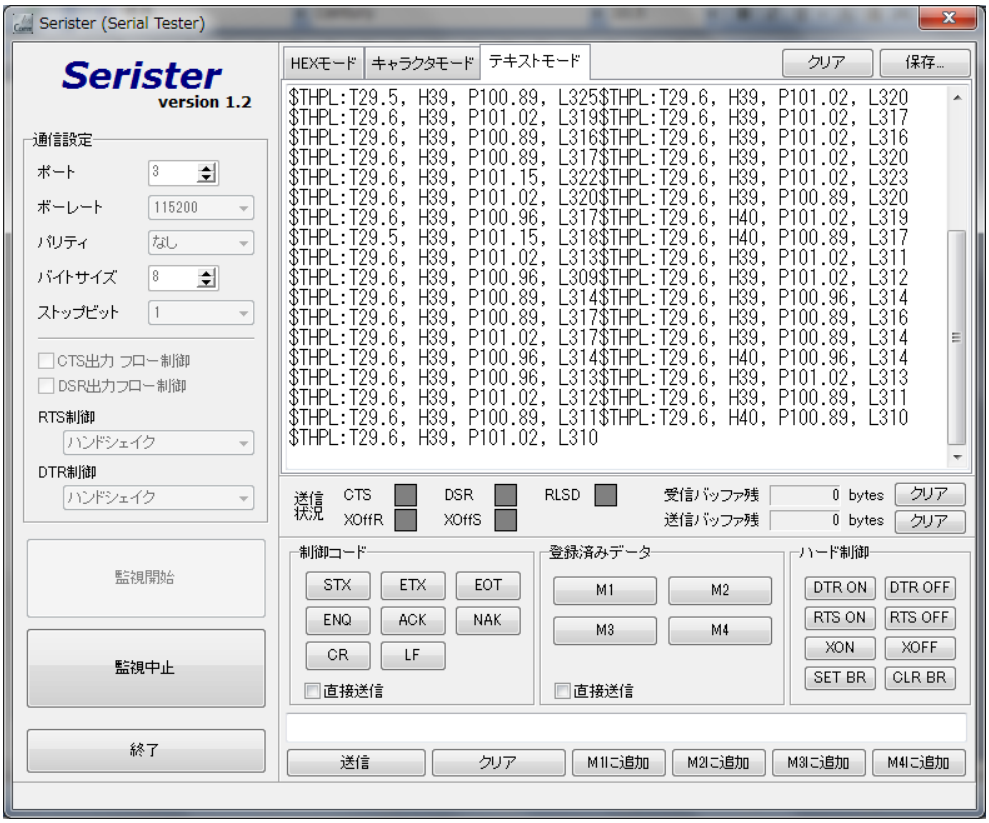
５－３－１１、Bluetooth デバイスのプロパティの「サービス」で Bluetooth デバイスの通信プロトコルと COM ポートを確認します。 OK ボタンをクリックして終了します。

Windows 7 は標準では COM ポートの通信を確認するターミナルソフトは搭載されていません。
インターネットの Web サイトから Windows 7 OS に対応した COM ポートと通信可能なターミナルソフトをダウンロードするか、若しくは市販の Windows 7 OS に対応した COM ポートと通信可能なターミナルソフトをご使用のパソコンにインストールしてください。



RS232C ワイヤレスコンバーターの COM ポートのデフォルト設定値は、
通信速度:115200、
データビット:8、
パリティ:なし、
ストップビット:1、
フロー制御:ハードウェア、
です。

5－3－12、シリアル通信ソフトに「Serister」を使用した場合、COM ポートと通信速度（ボーレート）を設定し、「監視開始」ボタンをクリックします。



5－3－13、RS232C ワイヤレスコンバーターから送られてきたデーターが表示されます。

6、 設定の変更（専用アプリソフト使用の場合）

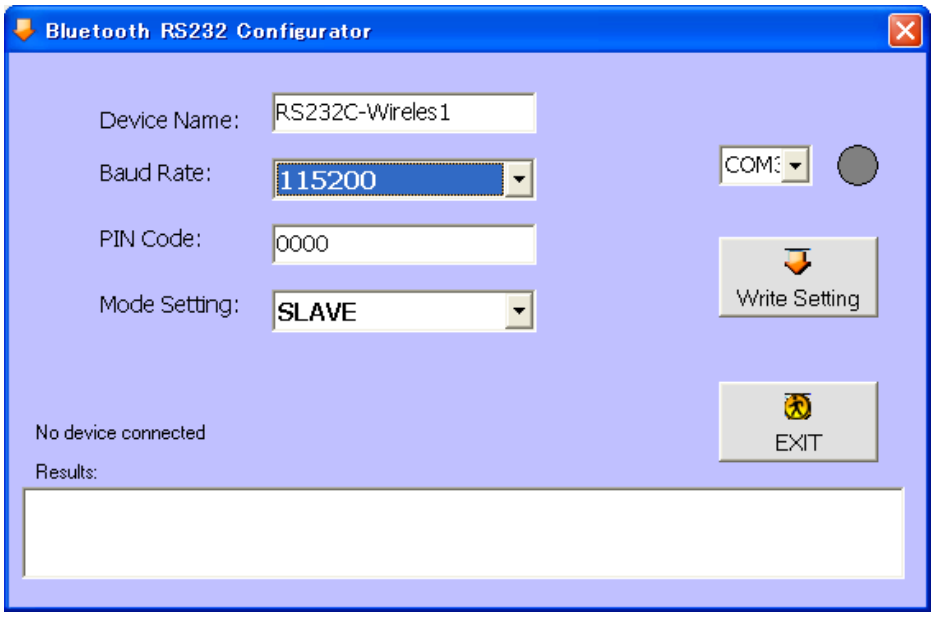
RS232C ワイヤレスコンバーターは専用のアプリケーションソフトを使用して、デバイスの名称（Device Name）、通信速度（Baud Rate）、PIN コード（PIN Code）、モード設定(Mode Setting)の 4 種類を変更することができます。

6－1、 RS232C ワイヤレスコンバーターの側面の設定スイッチを「ON」にします。
注意：スイッチを切り替える場合は電源入力プラグを抜いて作業を行ってください。

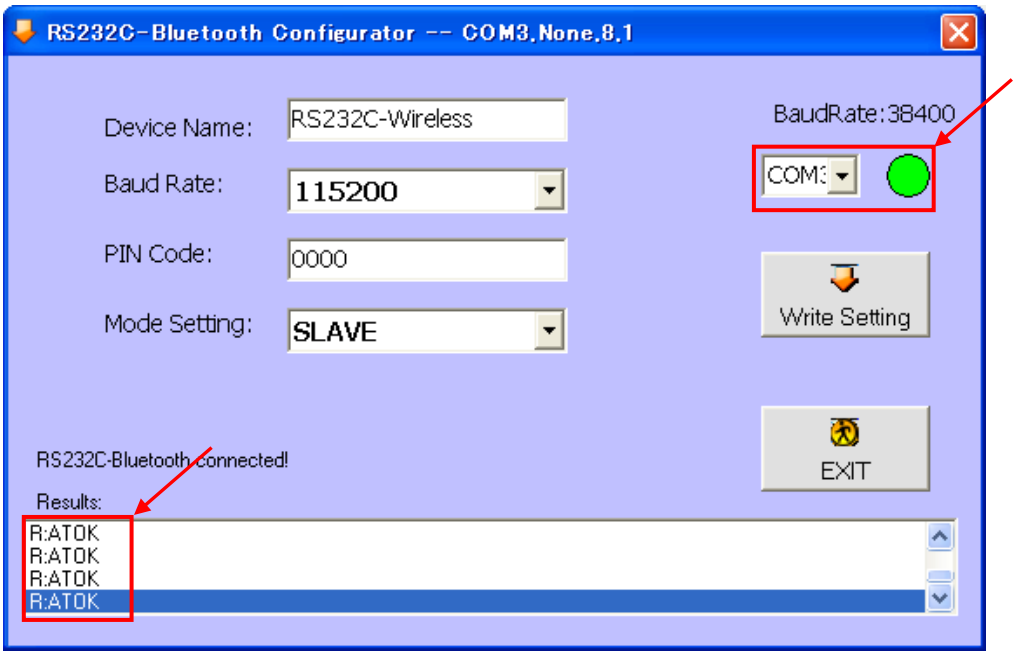
6－2、 パソコンの RS232C ポートに RS232C ワイヤレスコンバーターを接続します。
電源コネクターに電源ケーブルを接続します。（接続する電源電圧は DC5V です、DC5V 以上の電圧を付加した場合、本製品は破損して火災の原因になります。）
注意：一部の RS232C-USB 変換ケーブルも使用可能ですが保証するものではありません。

6－3、 本製品に添付のディスクをパソコンの CD(DVD)ドライブに挿入すると本製品の設定用アプリケーションソフトが立ち上がります。
自動でアプリケーションソフトが起動しない場合は、添付の CD から「PCOMM.DLL」と「RS232C_Bluetooth_CFG.exe」をパソコンのフォルダを製作してコピーして使用してください。

6－4、フォルダの「RS232C-Bluetooth_Config.exe」をダブルクリックすると下記の設定アプリケーションソフトが開きます。



６－５、COM ポートを指定すると設定アプリケーションソフトの COM ポート指定の右に有る丸が緑色に変わり自動で RS232C ワイヤレスコンバーターと通信を開始します。正常に通信が行われると設定アプリケーションソフトの下のボックス内に「R:ATOK」と表示されます。



６－６、デバイスの名称（Device　Name）、通信速度（Baud　Rate）、PIN　コード（PIN　Code）、モード設定(Mode Setting)の 4 種類の中でお客様が変更したい部分を変更します。

このアプリケーションで変更可能な仕様は。

デバイスの名称（Device　Name）　：　最大 15文字以内の英数字記号が使用可能です。

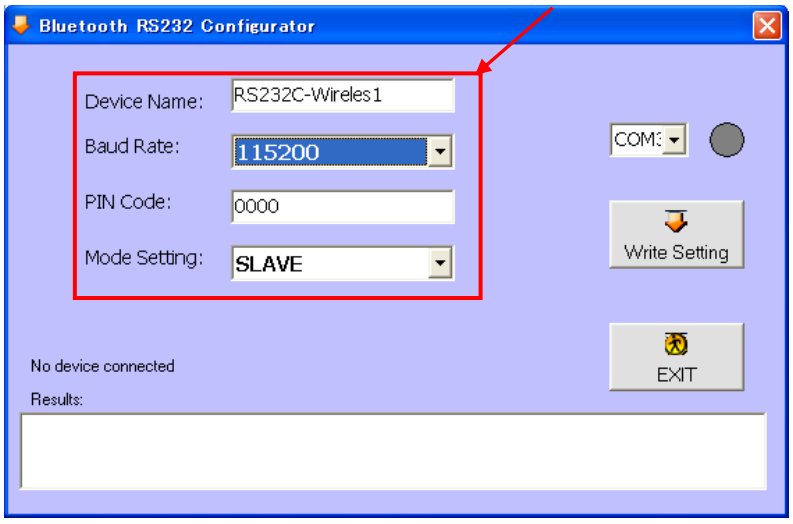
通信速度（Baud　Rate）　：　9600、19200、38400、57600、115200、の 5 種類から選択することが出来ます。

上記以外の通信速度を選択する場合は、事項7の AT コマンドに寄る設定を参照してください。

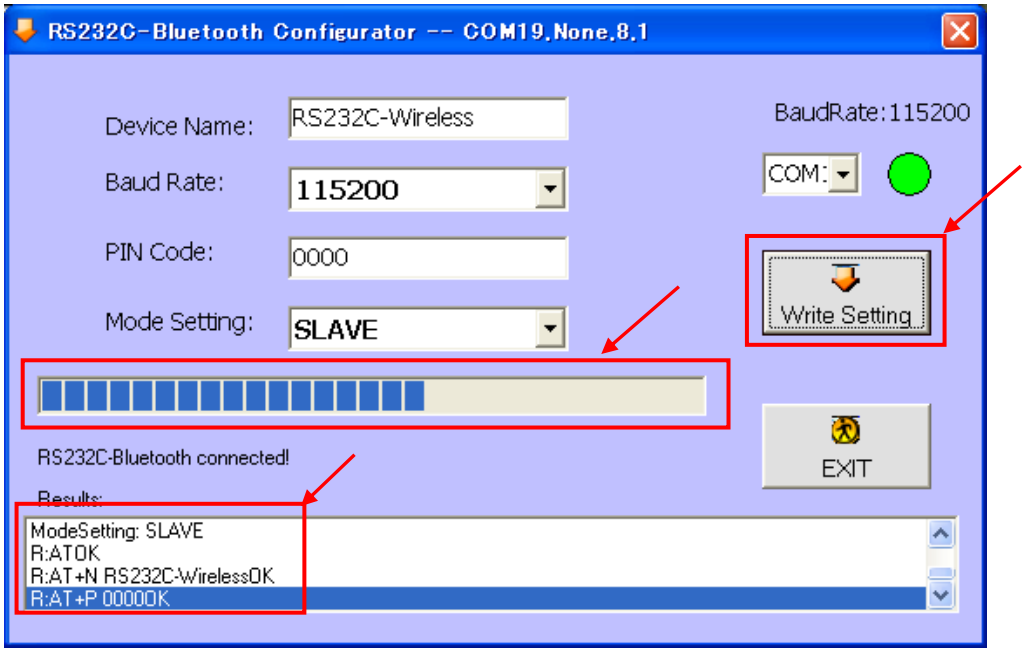
9.6K, 19.2K, 38.4K, 57.6K,115.2K, 230.4K, 460.8K, 921.6K, 1382.4K, 1843.2K 2764.8K and 3686.4K bps.12 種類から設定することが可能です。

PIN コード（PIN Code）　：　最大 15 文字の数字を使用可能です。

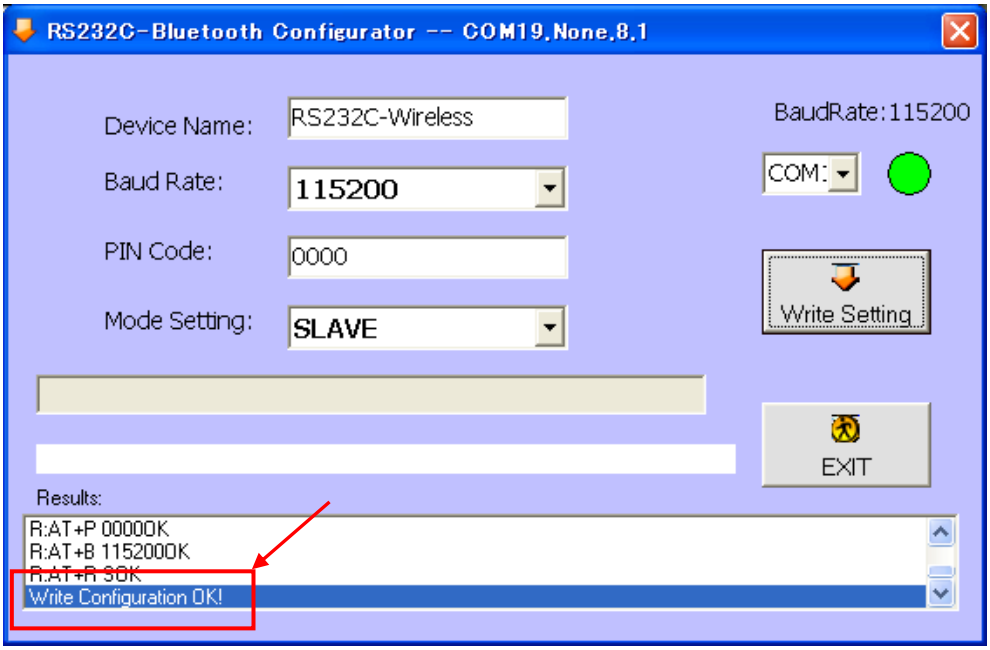
モード設定(Mode Setting)　：　MASTER モードと SLAVE モードの設定が可能です。



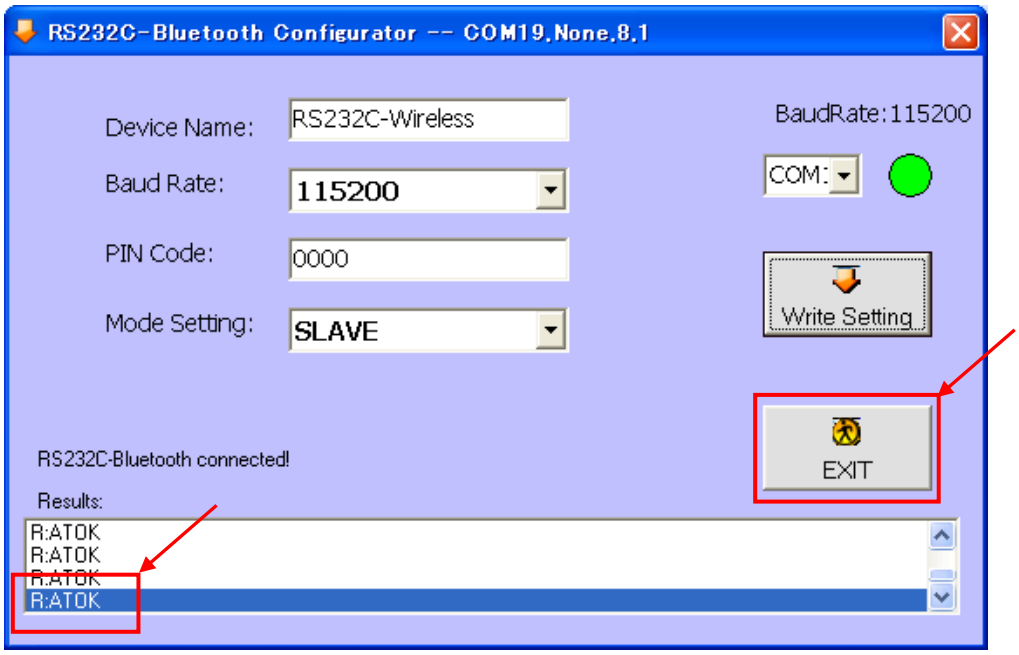
６－７、設定が完了したら、 Write Setting ボタンをクリックします。RS232C ワイヤレスコンバーターに新しく設定したデーターが書き込まれます。
プログラムの書き込み進捗状況は設定アプリケーション下のボックスに表示されます。



６－８、設定アプリケーション下のボックスに「Write Configuration OK!」と表示されたら RS232C ワイヤレスコンバーターへの 変更したプログラムの書き込みが完了します。



６－９、設定アプリケーション下のボックスに「R-ATOK」と表示されたら　EXIT　ボタンをクリックして設定アプリケーションを終了します。



６－１０、 RS232C ワイヤレスコンバーターの電源入力プラグを抜いて側面の設定スイッチを「OFF」にします。

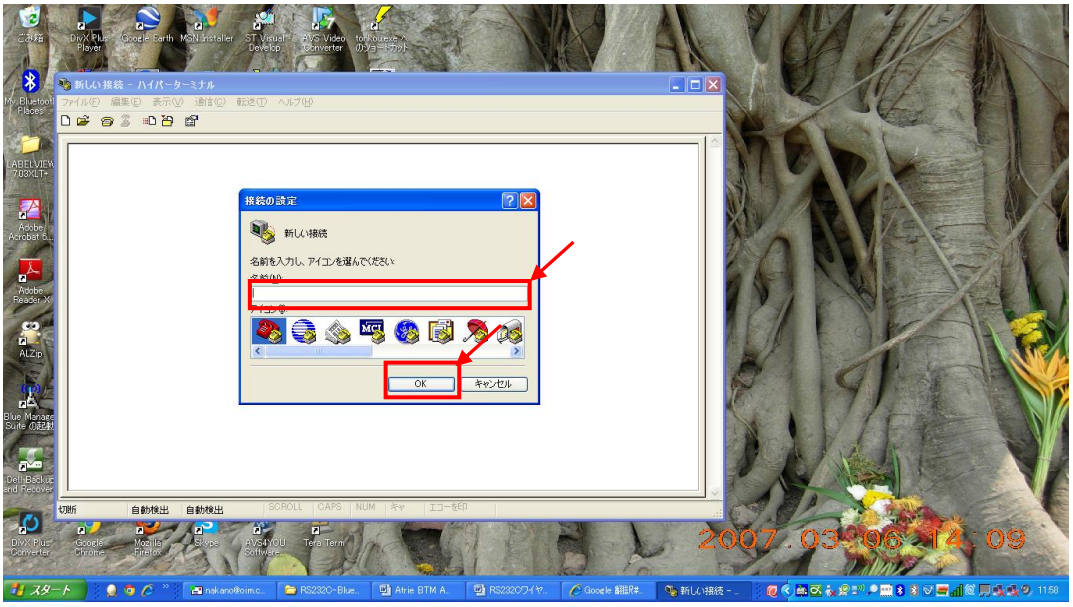
7、 設定の変更（AT コマンド使用の場合）

RS232C ワイヤレスコンバーターは、RS232C ワイヤレスコンバーターのパラメータ設定を行うための AT コマンドをサポートしています。AT コマンドはパソコンの RS232C(UART)ポートを介してパソコンのハイパーターミナルソフトから操作することが出来ます。AT コマンドの使用は AT コマンドを理解したうえで、お客様の責任でご使用してください。

7－1、 RS232C ワイヤレスコンバーターの側面の設定スイッチを「ON」にします。
注意：スイッチを切り替える場合は電源入力プラグを抜いて作業を行ってください。

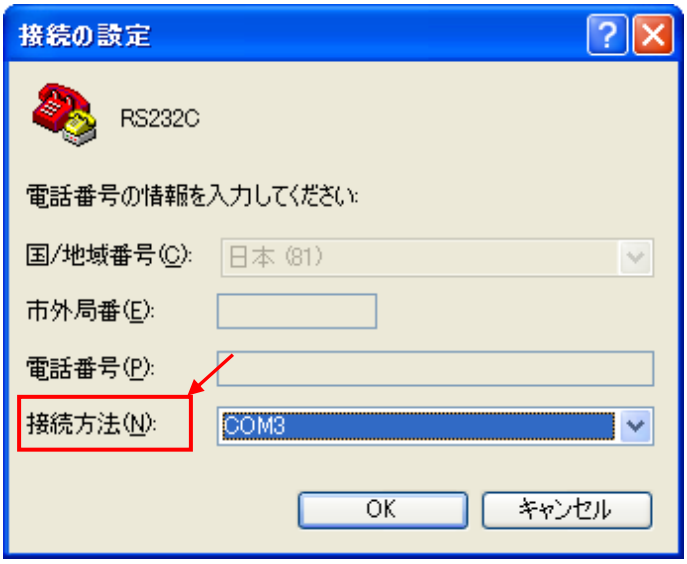
7－2、 パソコンの RS232C ポートに RS232C ワイヤレスコンバーターを接続します。
電源コネクターに電源ケーブルを接続します。（接続する電源電圧は DC5V です、DC5V 以上の電圧を付加した場合、本製品は破損して火災の原因になります。）
注意：一部の RS232C-USB 変換ケーブルも使用可能ですが保証するものではありません。

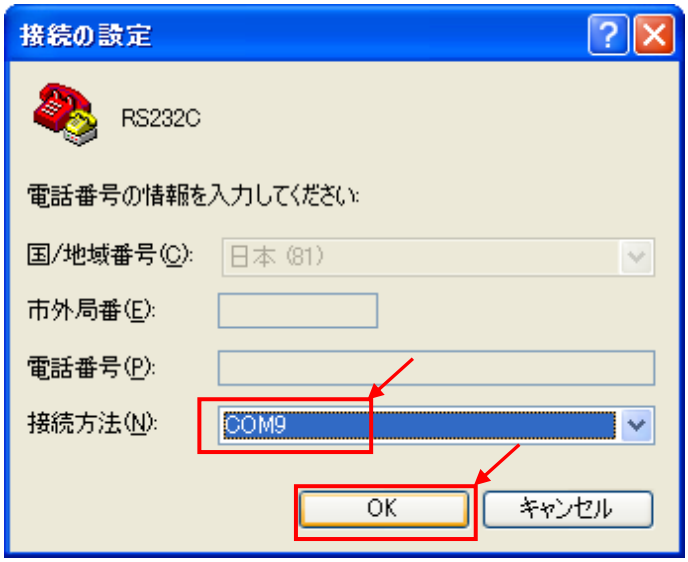
7－3、 パソコンのハイパーターミナルソフトを起動します。ハイパーターミナルソフトは Windows XP の場合、「スタート」→「全てのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」で起動できます。

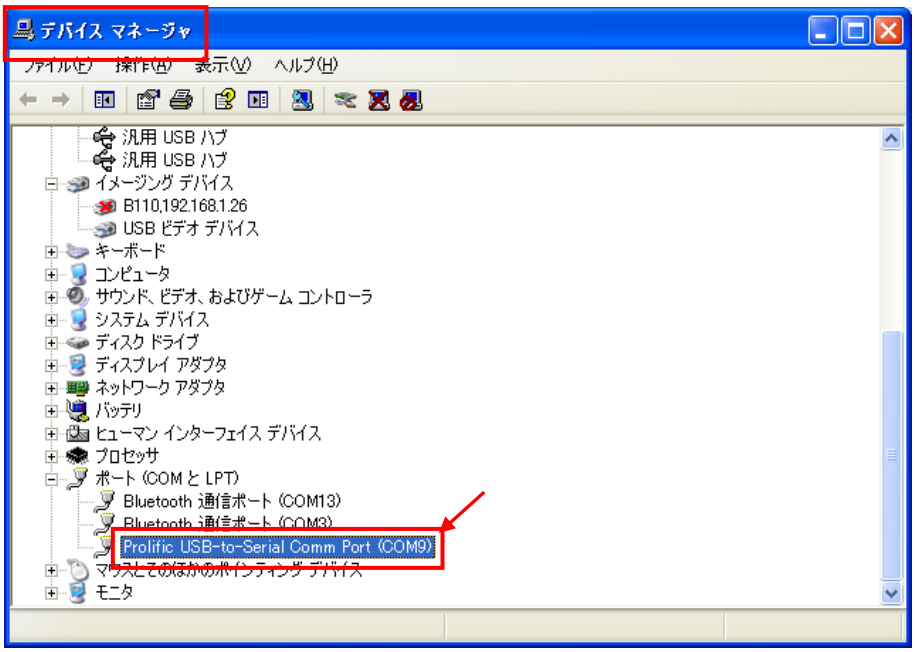


7－4、 接続の設定に任意の名称「RS232C」を記載して OK ボタンをクリックします。

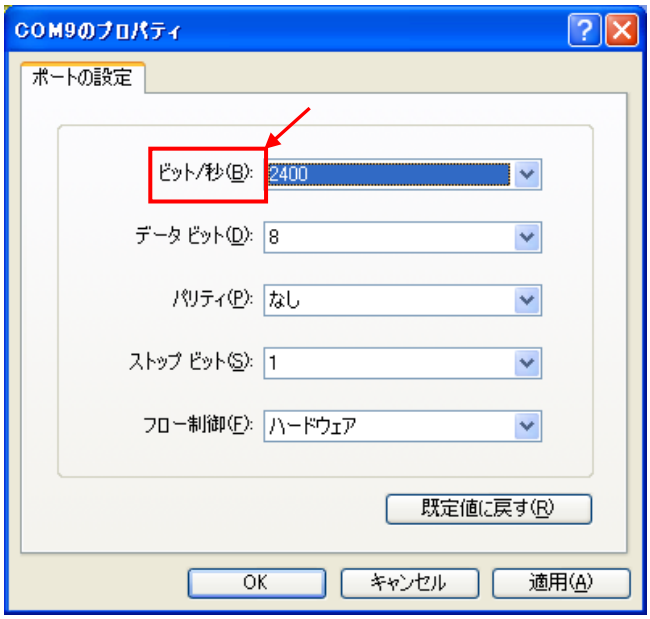
7－5、「接続の設定」のダイアログが表示されます。
「接続方法」の選択ボックスで RS232C のポートを選択し OK ボタンをクリックします。ポートが不明の場合「デバイスマネージャー」で RS232C のポートを確認してください。



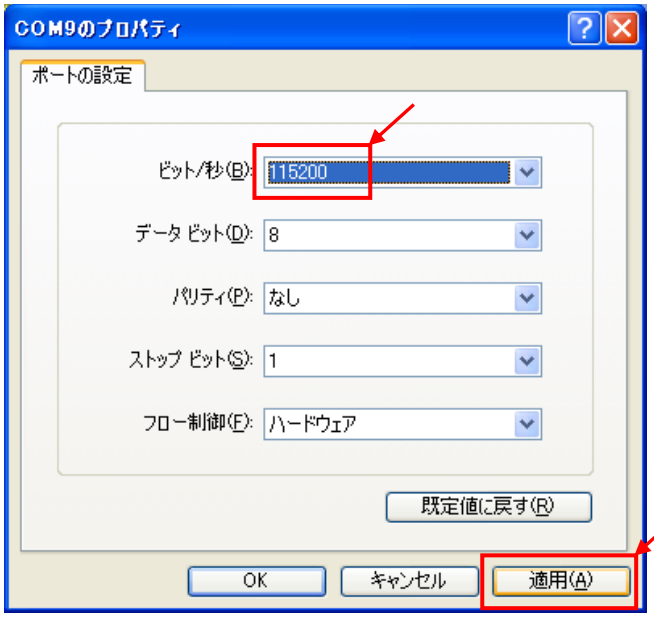


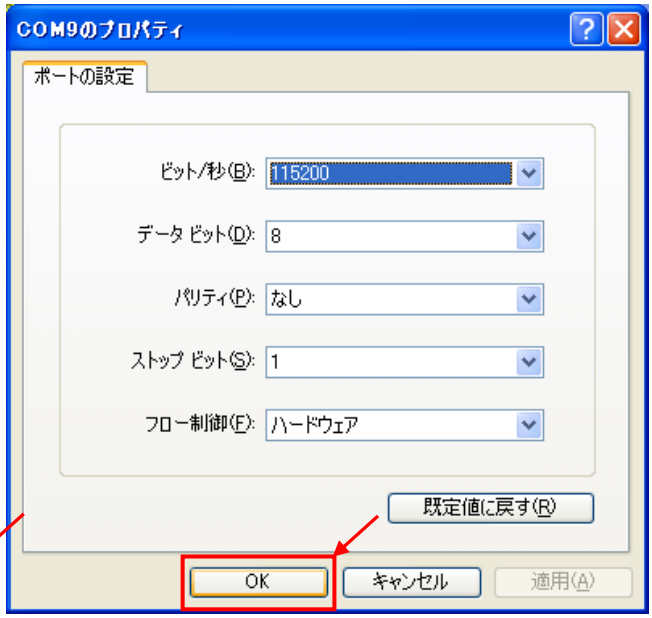


7－6、 COM ポートのプロパティのダイアログが表示されます。ここでポートの設定を行います。通信速度以外の設定はデフォルト値です。ポートの設定が完了したら 適用 ボタンをクリックし、その後で OK ボタンをクリックします。

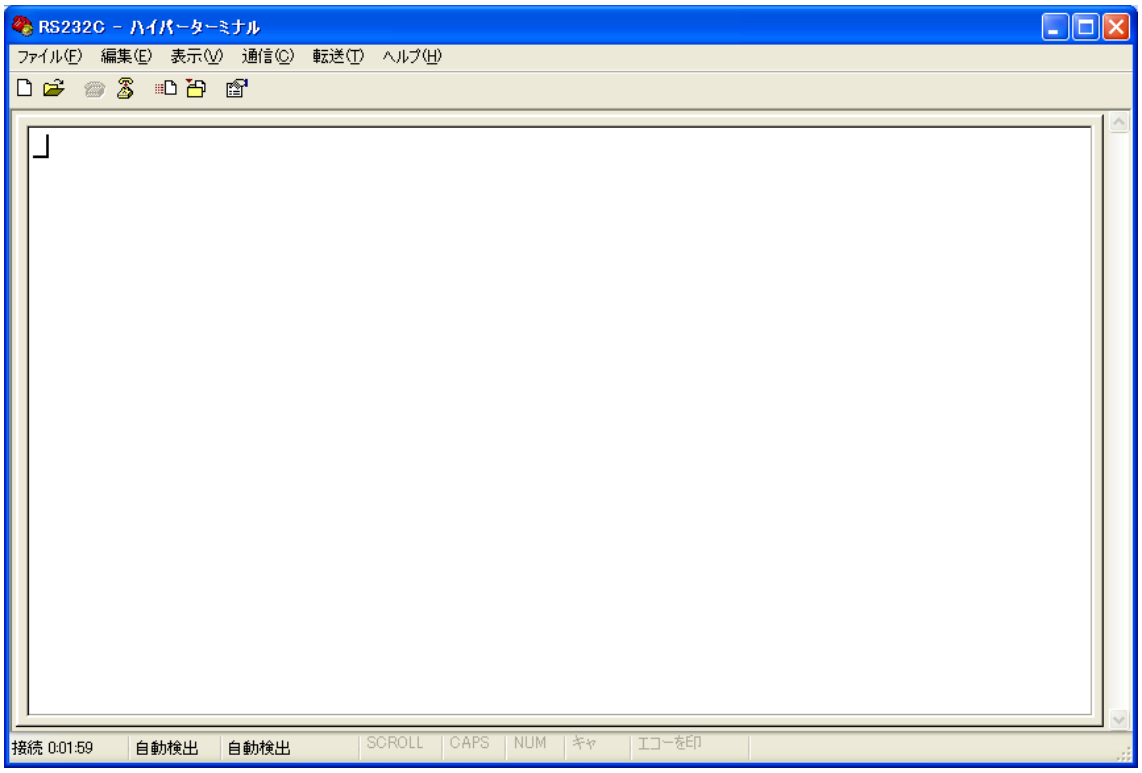


RS232C ワイヤレスコンバーターの
COM ポートのデフォルト設定値。
通信速度：115200、
データビット：8、
パリティ：なし、
ストップビット：1、
フロー制御：ハードウェア、





7－7、 ハイパーターミナルが使用可能になります。
AT コマンドセットの手順で操作してください。



7－8、 RS232C ワイヤレスコンバーターの SPP AT コマンドセット

RS232C ワイヤレスコンバーター supports AT command to do module parameters setting. AT commands should be terminated by a carriage return (“r”) character, hex code 0x0d. If the AT command is accepted by BT module, it will reply with ‘OK’, otherwise an “Error” message will be replied.

The AT commands can be issue from local UART port or remote device through SPP link. Before you can issue AT commands, the Bluetooth module should be configured to command mode. The command mode is enabled by placing the Bluetooth module PIO0 pin to high level at module boot. You can configure it through PC Hyper terminal.

When the configuration is complete, you will need to set up a switch in the OFF setting on the side of the case, reboot the BT module.

.

1. UART connect checking - AT

You can use AT command to check UART connection.

Device : AT

BT Module : OK

2. Baud rate setting – AT+B

You can set the UART to the following baud rate : 9.6K, 19.2K, 38.4K, 57.6K, 115.2K, 230.4K, 460.8K, 921.6K, 1382.4K, 1843.2K 2764.8K and 3686.4K bps.

Device : AT+B 115200 /* set baud rate to 115.2K bps */

BT Module : OK

3. PIN code setting – AT+P

You can set the BT PIN code. The maximum length is 15 digits.

Device : AT+P 5678 /* set PIN code to '5678' 4 digits */

BT Module : OK

4. PIN code inquiry – AT+P?

You can inquire the PIN code of the Bluetooth.

Device : AT+P?

BT Module : 1234 /* Bluetooth response PIN code value*/

OK

Or

BT Module : none /* Bluetooth response no PIN code is set */

OK

5. Delete PIN code – AT+Pd

You can delete the fixed PIN code. You must enter PIN code from Bluetooth keyboard when pairs with host.

Device : AT+Pd

BT Module : OK

6. Device name setting – AT+N

The command is used to set the BT module name. The maximum length is 15 printable characters.

Device : AT+N RS232C-Wireless

/* set BT module name to "RS232C-Wireless", total 14 characters */

BT Module : OK

7. Mode setting – AT+R

The command is used to set SPP mode.

Device : AT+R M /* set master mode */

BT Module : OK

Device : AT+R S /* set slave mode */
BT Module : OK

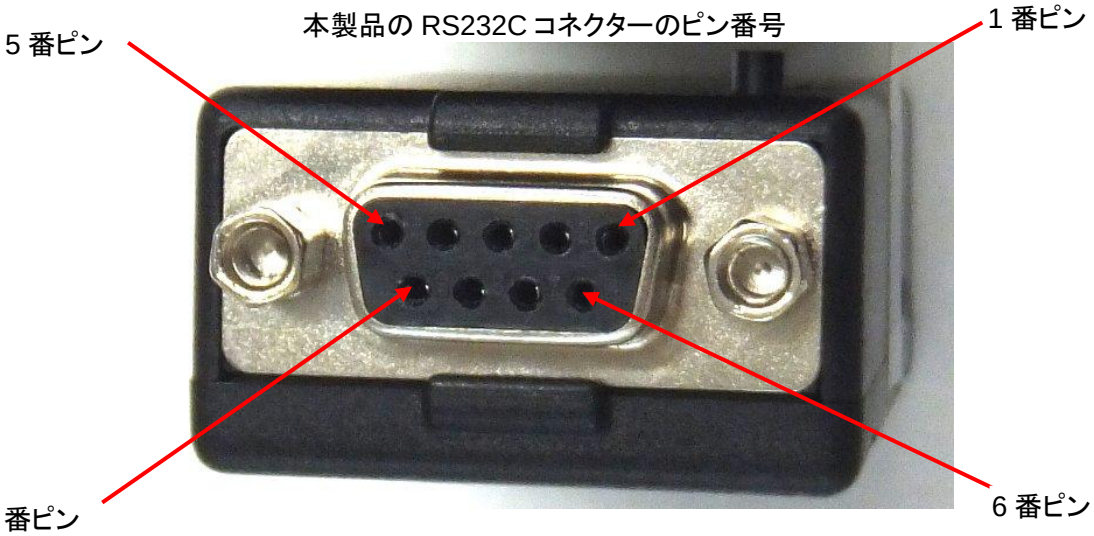
8、 RS232C コネクターピン番号

本製品の RS232C コネクターは、パソコン等の機器に直接接続可能なピンアサインに設定してあります。
本製品を接続する機器とピンアサインが接続可能な状態か確認して接続開いてください。
接続機器と、本製品の RS232C コネクターのピンアサインが異なる場合は、変換ケーブルを使用して接続してください。
本製品の RS232C コネクターのピンアサインは下記表を参照してください。

本製品の RS232C コネクターのピンアサイン表

ピン番号	信号線名	備考
1	電源入力 DC5V	電源供給可能（注 1）
2	TXD 送信信号	
3	RXD 受信信号	
4	6 番ピンと接続	
5	GND	
6	4 番ピンと接続	
7	CTS	
8	RTS	
9		

本製品の RS232C コネクターのピン番号

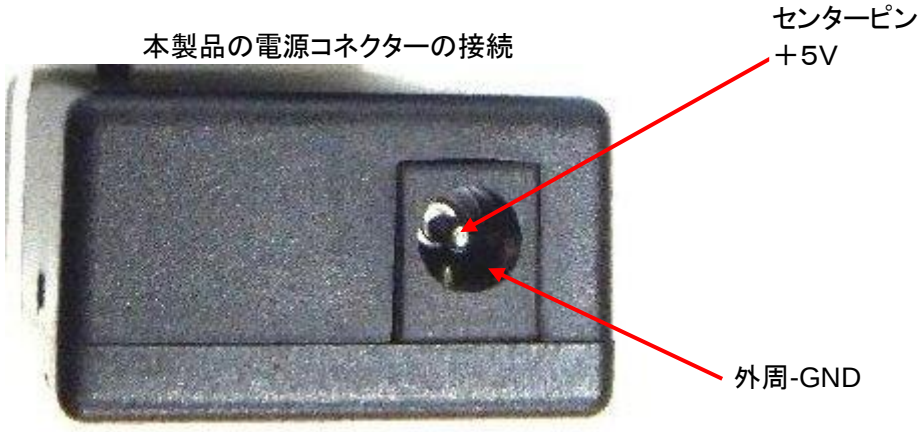


注1、 本製品の RS232C ワイヤレスコンバーターの RS232C コネクターの 1 番ピンに DC5V を供給すると外部電源を接続しない状態で動作します。外部電源を使用した場合、RS232C コネクターの 1 番ピンには DC5V は出力されません。
御客様の接続する機器の RS232C コネクターの接続変更が可能な場合は 1 番ピンに DC5V を入力してください。

9、 電源コネクターの接続

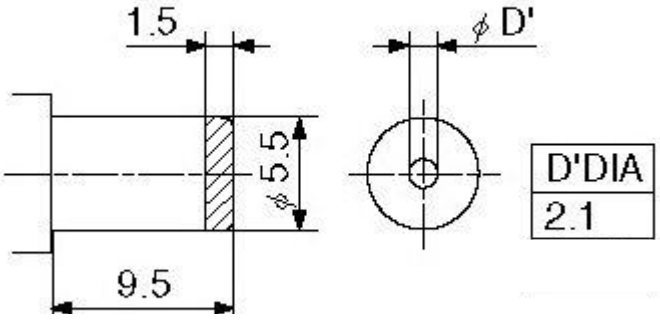
本製品 RS232C ワイヤレスコンバーターに電源を供給するには、DC5V 出力の電源アダプターを使用するか、RS232C コネクターの 1 番ピンから供給する方法が有ります。
RS232C コネクターの 1 番ピンから DC5V を供給する場合は、前項の注意事項を確認して接続してください。本製品（CO12051BP）の電源コネクターから供給する場合は、センターピンが＋5V の電源アダプターを使用してください。

本製品の電源コネクターの接続



適合電源プラグ寸法

適合プラグ寸法図



CO12051BU の場合は、ミニ B-USB コネクター（オス）のケーブルを使用して電源を供給してください

CO12051BU の電源コネクターのピンアサイン

ピン番号	信号線名	備考
1	電源入力 DC5V	
2	NC	
3	NC	
4	NC	
5	電源 GND 0V	
シェル	GND 使用可能	

10、 マスター／スレーブの接続

本製品の RS232C ワイヤレスコンバーターを 2 個使用して、ワイヤレス RS232C ケーブルとして使用することが可能です。
ワイヤレス RS232C ケーブルとして使用する場合、本製品に添付の CD 内の設定アプリケーションソフトを使用して 1 台をマスター（MASTER）に設定してください。
マスターに設定した RS232C ワイヤレスコンバーターとスレーブ（デフォルトの設定）の RS232C ワイヤレスコンバーターを RS232C 機器に接続し RS232C ワイヤレスコンバーターに電源を供給すると 2 個の RS232C ワイヤレスコンバーターは自動で接続されます。
マスターに設定した RS232C ワイヤレスコンバーターの LED 表示の点滅速度は、スレーブ（デフォルト）に設定してある RS232C ワイヤレスコンバーターの LED 表示の点滅速度よりも遅くなります。

改版履歴
2012 年 6 月 1 日
項目8，9，10の説明を追加
アプリケーションソフトの起動方法を変更